京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地　發行所　京城日報社
印刷人　發行兼編輯人

親米閣僚辭職 パラグアイ政變

【リスボン廿四日同盟】ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙アスンション來電によれば親米派と目されるパラグアイ政府の外務大臣ルイス・アルヘーナ及びその他數閣僚が軍部の強壓によって辭職したといはれる、パラグアイの政治勢力が最近「フロンテ・グール」と稱する少壯軍人團體によって握られ、その指導者は大佐だが、この團體はアルゼンチンの少壯軍人團體と密接な關係にあり、パラグアイがアルゼンチンのファーレル非常政府を逸早く承認したことから見ても、同國の反米傾向が今やいよいよ顯著となることが豫想される

きのふ閉院式 第八十四議會終る 閣僚、議員を御慰勞

【東京電話】第八十四帝國議會閉院式は廿五日午前十一時より貴族院本會議場において執り行はせられた、この日 天皇陛下には臨御あらせられず、東條首相以下各閣僚ならびに松平、佐々木貴族院正副議長、岡田、内ケ崎衆議院正副議長はじめ兩院議員定刻式場に參列、東條首相は恭しく勅語書を奉讀、終って松平貴族院議長恭しく勅語書を奉戴して退下した

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕ハ卿等カ能ク朕カ意ヲ體シ協贊ノ任ヲ竭セルヲ嘉ス

【東京電話】天皇陛下には議會終了の廿五日午前十一時五十分、閣僚、貴衆兩院議員各政府委員などを宮中に召させられ、正殿において拜謁仰付けられ、終って御慰勞の思召により酒饌を御下賜、一同は光榮に感激して宮中を退下した

首相政務奏上【東京電話】東條首相は廿五日午前十一時半參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般政務に關し奏上退下した

外相奏上【東京電話】重光外相は廿五日午後四時半宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項につき種々奏上退下した

遂川の華・陸鷲尾崎大尉 感狀上聞 二階級特進の榮

蝟集する敵機に 正面より激突 僚機の急に赴き散華

陸軍省發表（昭和十九年三月廿五日十四時）今般左の通り發令せられたり

任陸軍中佐　陸軍大尉　尾崎中和

陸軍省發表（昭和十九年三月廿五日十四時）昭和十八年四月以來在支戰鬪飛行機部隊中隊長として各地に轉戰、赫々たる偉勳を樹て同年十二月廿七日遂川飛行場攻擊に當り、自機致命部に敵彈を被りつゝも僚機の危殆を救ふため、敢然敵機に激突、遂に壯烈なる戰死を遂げたる陸軍大尉尾崎中和に對し、さきに支那派遣軍最高指揮官より感狀を授與せられしが、今般畏くも上聞に達せられたり

感狀　坂川部隊中隊長　陸軍大尉　尾崎中和

右は昭和十八年四月以來在支那戰鬪飛行部隊中隊長として重慶、昆明及び衡陽等に對する進攻作戰に、將また遂川附近の邀擊戰鬪に常に進んで至難なる任務に服し、克く部下を掌握指揮して靈奇なる戰果を收めたり、即ち大尉の統率せる中隊の敵擊墜機數は僅々半歲餘にして五十數機に及び、その中十九機は實に大尉の直率部隊の戰果にして時に敵大編隊に對する攻擊に至りては眞に入神の技を有し細眼克く敵機を捕捉し、熾烈なる敵大編隊の彈幕を冒し一擊必殺の肉薄攻擊により所謂擊墜機數の過半たる六機を自ら屠れり

同年十二月廿七日正午過遂川飛行場の攻擊に方り大尉は再び敵戰鬪機部隊の直接掩護に任じ、緊密なる協同の下、該部隊をして奇襲克く敵大型機多數を捕捉するを得しめたり、次いで敵戰鬪機廿數機の優位なる態勢を以て反擊し來るに會するや、大尉は率先果敢なる攻擊に依りその數機を擊墜破し、敵機の我が爆擊部隊に對する攻擊を完全に擊退せり

而して本激戰間、大尉は自機の致命部に敵彈を被り一時行動の自由を失ひしも僚機の危殆に瀕するを見るや、これに向ひ攻擊中の敵機に猛然正面より激突を敢行し遂に壯烈なる戰死を遂げたり

以上大尉の行動は眞に高邁なる戰鬪指揮と積極敢爲烈々たる攻擊精神とを以て輝々たる偉功を奏し、殊にその最後においては戰鬪一擊の機敏を發揮し、己を棄て一部下の急に赴き、敢然として敵機に激突せるものにして、皇軍戰鬪隊の精華を發揮せるものと謂ふべく、その武功拔群軍人の龜鑑とするに足る

仍って茲に感狀を授與し之を全軍に布告す

昭和十八年十二月八日　支那派遣軍最高指揮官　畑俊六

尾崎中佐（大尉當時）

陸鷲遂川爆擊　炎上せるは集結中の在支米空軍・左上方はわが陸鷲（陸軍省檢閲濟）

社說 議會終了と官民の覺悟

第八十四通常議會は廿五日を以て最後の幕を閉ぢた。總計五百九億に及ぶ豫算案及び臨時軍事費廿三件の重要法律案と共に成立した。この議會をめぐって政府の戰時重要施策に對する建設的質問が開陳され、政府のこれに對する熱烈かつ率直なる答辯も遺憾なく闡明された。しかもこの間、その會期の實質日數は僅か半ケ月餘に過ぎない快調ぶりであった。まことに緊急時に相應しい成果であったといへる。かくて議會を通じ一億國民の必勝の信念はいよいよ固く、戰爭完遂の決意は益々深きを加ふ。政府はこの國民的大信念の上に國政運營、戰爭完遂の基盤を置き最後の決戰態勢に突入せんとする態勢を整へつゝある。

議會は終った。然らば政府は次に何をなすべきであるか、國民は何をなすべきであるか。政府のなすべき決戰方策は國民の戰意昂揚、戰力の增強、食糧の增産、而して國土防衛の四つにつきる。東條首相は「國民の信念の上に立って最後の方策を講じ、あらゆる手段を執って參る所存」と極めて力強き決意を披瀝してゐる。その最後の方策とは、すなはちこの四大施策を指向すべきものであり、あらゆる手段なるものこそは政府が次々に實行に移しつゝある緊急諸措置でなければならない。今や政府は一刻一瞬も遲滯を許すべき秋でない。國民への言聽も要らない。一切の有難左右を決然止揚し、議會によって許容された最大限度の政治力と行政力を以って、たゞ必勝に決戰施策を果敢に斷行すべきである。

國民はたゞ政府を信頼するのみであり、たゞその大號令を待つのみである。太平洋の戰局は激しく我が國土を脅かし、醜き敵はすでに我が門に爪牙を研いでゐる。この時に當って何の不安があらう、何の不滿があらうか。一億たゞ不動如來となってこれを擊つのみである。國民にして若し一片の私情、一個の私利に拘り、『己れが前進の一歩を誤らすものありとすれば、只今敵前にあって先づその心の敵を擊つべきである。國土即戰場、一億悉く戰士となる。

これ單なる空念佛ではない。必ずやそれは一億の信念でなければならぬ。この一點においては政府も國民もこの區別あり得べきではない。國民はたゞ政府を信頼し、政府また國民を信じて相倚り相扶けて國難を突破するところに、國家の勝利があり、戰爭の勝利がある。必勝の不拔こそはこの國民一億の鐵壁に示されん。われらは政府を激勵して已まない。われらはまた政府につゞいて勇往邁進の壯途への途を完歩せん決意で一杯である。

皇軍の神業

最近における大本營の發表は、正直の血の躍動の中に感ずる。これより大なる喜びはない。殊に南方における大本營の發表は、正に一億の信念に應ふる皇軍の神業に外ならない。すなはち同島トロキナ附近の敵陣地に對する一個聯隊の奇襲は、作戰や物量を以てしては絶對に拔き得ない難攻不落の陣地であったといふ。それを皇軍は奪取し、更に攻擊をつゞけてゐる。皇軍の神力がそれを敢てしてゐるのである。われらでさへ驚嘆のほかはない。しかしわれらはこの一局部の小さな勝利を謳歌して、全戰局を許さうといふのではない。われらは一億の努力を戰力增強に傾けて、それに應へる所以ばかりである。

五十二機屠る 陸鷲八日間の戰果 緬印戰線

【ビルマ〇〇基地廿五日同盟】三月以降緬印國境方面における敵空軍の猖獗は日毎に熾烈の度を加へつゝあり、これに對してわが陸鷲の精鋭は悍兵よく勇戰して縱横の活躍を續けてゐるが、三月十日以降十七日までの戰果左の如し

擊墜卅一機（うち不確實五機）炎上十二機、擊破九機、わが方の損害、自爆一機、未歸還二機、大破二機

タムに突入態勢 機械化部隊、敗敵急追

【ビルマ前線〇〇基地中島報道班員廿三日發】カバウ谷地における菊部隊第廿師團主力一部の機械化部隊はますます最前線に達しわが精鋭部隊は廿日先頭部隊はペンタ北方地區において遮斷を為す約四百の敵を捕捉してこれに殲滅的打擊を加へ、以來潰亂となって退却中の敵部隊を急追、敵に殲滅的打擊を與へつゝある

すなはちウイトツクを攻略した各部隊精鋭は廿一日以來タム南方一粁の要衝パンタに猛攻擊を加へて先遣部隊はペンタ北方地區において遮斷を為す約四百の敵を捕捉してこれに殲滅的打擊を加へ、一方北方より南下して來た一部と協力してタム西方に迫つてゐる

新しき建設に確信あり ボース首班、東條聲明に感謝

【ビルマ〇〇基地廿四日同盟】印度國民軍の勝利的な印度本土突入に際し東條首相より重ねて中外に闡明された印度獨立支援の聲明に對し自由印度假政府首班スバス・チャンドラ・ボース氏は廿四日左の如く感謝の聲明を發表

自由印度假政府の印度内進入に伴ふ新しき統治により四百萬の同胞は外國の支配と自治との間に存する大きな相違を知るであらう

印度國民軍が印度に入るとともにわれわれくの獨立戰爭はもっとも困難な段階に入ったが、それにも拘らずわれわれくは神の恩寵に惠まれて印度あるひは東亞諸國人の努力に報いるやう期待してゐる

信頼に應へ得ると確信を抱いてゐる。今後われわれは一方においては不撓不屈の作戰を遂行するとともに、これと同時に解放された印度の土地に新しき統治を建設するであらう、この新しき統治は三億八千八百萬の印度人同胞に對して外國の支配と自治との間に存する天地霄壤の差を明示するものと期待し、また同じく信ずるものである

今回の東條首相聲明によって日本の政府および國民との間に將きな信賴と心からなる協力の精神の存在することが世界に闡明されたのである、東條閣下と同樣われわれく印度人も印度の獨立獲得の鬪爭を戰ふことは即ち東亞のため、また世界正義のために戰ふことであることを充分自覺してゐる

政府は强力果敢に遂行 東條首相、一億の總蹶起を要望

【東京電話】東條首相は第八十四議會の終了に當り廿五日左の如き談話を發表、戰力の增強と國民生活の確保に關し政府は最大の努力を傾注し、一億國民がいよいよ總動員、總蹶起して遺憾なく作戰の要求を充足するやう要求した

今回の議會は戰局最も重大なる時期に開會せられ、政府はこれに關する諸般の豫算案、法律案を提出したのであるが、貴衆兩院は陸軍の要求に即應し極めて熱烈なる協力を以て之を協贊し戰時下議會の使命を果したことは洵に御同慶の至りに堪へない

今回の議會を通じて總力を擧げ大東亞戰爭の完遂を期する皆國民の不退轉の決意と一億國民の烈々たる氣魄とはあらためて中外に闡明せられ、しかして大東亞諸國家諸民族はますます結束を固めて大東亞新秩序の建設に向ふいよく邁進してゐるのである、皆敵は今やその頽勢を一新、再び攻擊に移らんとするドイツ相呼應へて我國に肉薄する米英が反攻に乘り出されて居るに乘じ「東西相呼應して」今一大兩翼を擊ふべく深く期してゐる

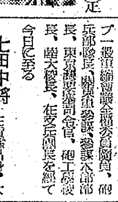
政府は今回協贊を得たる豫算案、法律案を直ちに實施に移すと共に時を移さず更に所要の諸方策を劃力果敢に遂行し益々戰力の增強と國民生活の確保とを期し一億國民この上とも總動員して至上の要求と致し一切を擧げて皇國必勝の勝利獲得に向って滿身の努力を傾注し以て皇國の信念を奉體せしめんことを期する次第である

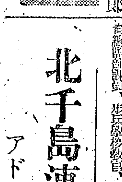
陸軍異動 西部軍司令官 下村定中將 東部は藤江大將 陸大校長、秦中將兼補

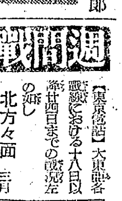
【東京電話】陸軍では廿五日東部軍司令官をはじめ陸軍大學校長、陸軍科學學校長の異動を行ひ、東部軍司令官には土肥原賢二大將の後任には西部軍司令官藤江惠輔大將、西部軍司令官には陸大校長下村定中將が補され、東條英機大將の兼補する陸大校長には参謀次長秦彥三郎中將が補され、陸軍科學學校長には七田一郎中將が補された、ほかに三上少將戰死した松尾男太郎、三澤金夫、近藤二郎、齋藤晴雅の四大佐がそれぞれ少將に昇級した

陸軍省發表（昭和十九年三月廿五日）今般左の通り發令せられたり

陸軍大將　藤江惠輔
補東部軍司令官


陸軍中將　下村定
補西部軍司令官


同　秦彥三郎
兼補陸軍大學校長


同　七田一郎
補陸軍科學學校長

陸軍大佐　松尾男太郎
同　三澤金夫
同　近藤二郎
同　齋藤晴雅
任陸軍少將

各將星略歷

藤江大將 兵庫縣出身、大正三年陸大卒、以後參謀本部員、佛國大使館附武官補佐官、平和條約實施委員、陸大兵學教官、ジュネーブ一般軍縮會議全權委員隨員、野戰砲兵學校幹事、憲兵司令官、在支兵團長、陸軍大學校長を經て昭和十六年西部軍司令官となり現在に至る

下村中將 高知市出身、大正五年陸大卒、參謀本部員、佛國駐在、東京警備參謀、陸大兵學教官、平和條約實施委員、ジュネーブ一般軍縮會議全權委員隨員、砲兵部隊長、關東軍參謀、參謀本部長、東京灣要塞司令官、砲工學校長、陸大校長、在支兵團長を經て今日に至る

七田中將 佐賀縣出身、大正八年陸大卒、參謀本部員、教育總監部部員、步兵學校教官、人事、歩兵部隊長、教育總監部課長、野戰砲兵學校幹事、在滿部隊長、土官學校幹事、在支兵團長、參謀本部附を經て今日に至る

松尾少將 福岡縣出身、第一線部隊長として活躍中昭和十九年三月三日戰死

三澤少將 東京都出身、第一線部隊長として活躍中十九年三月五日戰死

近藤少將 久留米市出身、第一線部隊長として活躍中十九年三月六日戰死

齋藤少將 福岡縣出身、第一線部隊長として活躍中十九年三月九日戰死

週間戰況

【東京電話】大東亞各戰線における十八日以降廿四日までの戰況左の如し

北方々面 三月十六、七、八、九日連夜敵數機北千島に來襲、同地區を爆擊して遁走、わが方被害なし

支那方面 地上作戰＝今週も各地において討伐作戰を續行、特に遠河北省及び山東省の一部において有力なる敵中共軍をそれぞれ捕捉殲滅して俘虜二百五十八のほか武器彈藥多數を鹵獲

◇航空作戰＝わが航空部隊は十八日米國四次にわたり衡陽飛行場

北千島連夜來襲

アドミラルティ激戰

を反復攻擊附屬施設二ケ所を炎上一ケ所に大破を生ぜしめ全機無事歸還、三月中旬における敵飛行機の來襲十七回延百三十三機、わが方の被害地域等なし

◇中部太平洋方面 十八日マーシャル諸島ウオツゼに敵小型十三機來襲うち一機を擊墜、一機を擊破した、十九日ミレ島に敵重爆數機來襲各種飛行機延百二十機をもって反復攻擊し來つたが、十二機を擊墜した、廿日朝ヤルートにB24、B25戰爆十一機、同日夕ロアにB25九機、廿一日朝再びヤルートにB24十四機が來襲した

消息

◇白川榮泰氏（日本無盡會社社長）廿四日南鮮南畑、海州へ出張廿七日歸城豫定

各地を爆擊

【リスボン廿四日同盟】シロン（アッサム州）來電＝アッサム州政廳は日本航空部隊がカチャール、ならびにマニプールの各地に爆擊を加へた旨廿四日發表した

日本軍には火器無效

【リスボン廿三日同盟】三月上旬日本軍がブーゲンビル島トロキナ附近の敵に對し攻擊を開始したが、米軍は陣地に砲擊を行ったが、戰況は混亂に陷らしめてゐる

米軍司令部の艦艇が各地を搜し米軍を攻擊を加へて大戰果を擧げたと本日の米國軍情報によれば米軍の防禦線の北邊に進入して來た日本軍推身部隊と激戰中である

トロキナおよびピバの米軍兩飛行場が九日および十日の兩日に亘って日本軍の砲擊を被つた、また日本軍は米軍陣地に肉薄し米軍の反擊を阻止しつゝある

橋頭堡に連佩擊 敵、ブ島の苦戰を發表

【リスボン廿四日同盟】ハルゼー麾下の米國太平洋艦隊司令部の發表は廿四日次の如く說明した、三日間に亘って日本軍は北ソロモンのブーゲンビル島において反復攻擊を加へて大戰果を收めつゝある、北方十二粁の〇〇附近において逐次攻擊を開始した日本軍に對し米軍は反擊を行ったが、同島における日本軍は米軍の防禦線に肉薄しつゝある、エンプレス・オーガスタ灣の橋頭堡を繞る戰鬪は再び激烈化し米軍の防禦線は日本軍の攻擊を受け、ピバ飛行場の滑走路は頻繁な爆擊を受けてゐる

からのA・P電報は日本軍がこゝ數日來ラバウル攻擊の反撃艦の空軍基地たるブーゲンビル島の航空基地を擊破せんと努力してゐるのは注目に値する、エンプレス・オーガスタ灣の米軍外郭線内の飛行場は日本軍の攻擊を受け、ピバ飛行場の滑走路は頻繁な命中彈を被つたと報じ何れも日本軍步兵および砲兵が緊密な協力の下に敵陣に突撃しつゝある

亘って日本軍の砲擊を被つた、また日本軍の夜襲部隊などが降りの豪雨を冒して進出し、米軍陣地北邊において有利な陣地を占領した、同日のA・P電報は日本軍がこゝ數日來の砲擊を續けてゐる、日本軍は米軍陣地に肉薄し、ヤノン麓の一高地を占領した、日本軍の陣地からの激戰はヤノン麓の最大の激戰として所謂キヤノン麓の戰鬪として日本軍は米軍陣地に血腥い攻擊を行ひ、日本軍一個中隊はヤノン麓の一高地を占領した、と簡單な電文の中に皇軍の鬼神の如き肉彈突擊の樣を傳へ、廿三日のトランス・ラヂオは米軍司令部の談として、日本軍に對する攻擊は火焰放射器をはじめ一切の火器ではだめだ、日本軍の銃劍に對抗し得るものは銃劍だけだ

全支週間戰況

【南京廿四日同盟】支那派遣軍週間戰況（三月廿四日發表）わが陸軍航空部隊は去る十八日米國四次にわたって衡陽飛行場を反復攻擊し附屬施設二ケ所を炎上、一ケ所を大破せしめ全機無事歸還した、最近わが航空部隊の連續的攻擊により敵空軍の動きは漸く消極的となりつゝあるが、しかし現在大陸に追ひ込まれてゐる敵航空兵力の數は敵の總反攻時機と對應して決して輕視を許さないものがある

なほわが地上部隊は最近河北省新城、林子主附近ならびに山東省平度南方諸家附近において有力なる敵中共軍をそれぞれ捕捉殲滅し敵俘虜二百五十八のほか武器彈藥多數を鹵獲するなど多大の戰果を收めた

陸鷲 建甌、玉山を猛爆

【〇〇基地廿五日同盟】敵在支米空軍の前進基地を求めて重慶政府治下の奥地に向ふ中のわが陸軍航空部隊は三月廿日爆撃機の大編隊をもって午前十一時福建省の建甌飛行場を強襲、降雨を衝いて猛爆を敢行し、かつ滑走路に巨彈を命中せしめこれを徹底に爆碎した

敵は爆撃せる高射砲をもって猛烈なる砲火を浴せ來つたが、わが方は全機無事歸還、凱歌を擧げた

また同日午後四時廿分玉山（江西省）を攻擊、敵防禦砲火を冒して飛行場滑走路を粉碎し、全機悠々歸還した、建甌飛行場は最近益々擴張に努めつゝあるもの如く四方に誘導路を延長し大型機用の掩體を構築中であった

ベスビアス大噴火

【リスボン廿四日同盟】ミラノ來電＝ベスビアス火山は十八日以來猛烈な噴火を續け北麓のサン・セバスティアノ、マッサ・デ・ソマ兩村落を燒き盡し更にボルアチ、ニルコラの兩村も燒失し、廿日までに死者二千名を出し住民は二萬五千名に上りつゝあり、廿日以來スキー不明も火山灰に覆はれるに至つた

（カット）一九二七年のベスビアス大噴火＝ナポリより望む

米軍損害十六萬餘

【リスボン廿四日同盟】ワシントン來電＝米國陸軍長官スチムソンは廿三日の新聞記者團會見で、開戰以來本年三月七日に至る期間の米國陸海軍損害を總計して次の通り發表した

米軍損害總計　一六八、二九一

【陸軍損害】戰死二一、七三七、負傷三〇、三六三、行方不明二六、七四七、俘虜二七、三四六、合計一二六、一九三

【海軍損害】海軍二七、七九〇、海兵隊一三、八五四、沿岸警備隊四五五、合計四二、〇九九

加、重慶と援助條約

【リスボン廿四日同盟】オッタワ來電＝カナダはすでに英本國、ソビエト聯邦などと相互援助條約を締結したが、首相マッケンジー・キングは下院でカナダ政府が廿四日重慶政府との間にも同樣の協定を締結した旨を發表した

印度金銀値暴騰

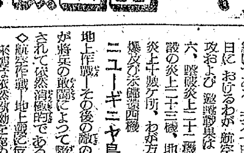
【リスボン廿四日同盟】ボンベイ來電＝かねてインフレにより混亂を示してゐたボンベイ金銀市場は廿三日日本軍が國境を突破したとの報を入れ思惑人氣沸騰して相場急騰、金塊市場出來高の如き百四十萬ポンドと過去一ケ月の最高値に達し人心動搖、政廳財務局を狼狽せしめてゐる

英の炭坑罷業擴大

【ストックホルム廿四日同盟】ロンドン來電＝英國の炭坑罷業は一九四七年末までの和協案につき廿四日意見一致したと傳へられるが、ヨークシャー南部では罷業が廿八坑に擴大、四萬人の炭坑夫が參加し、さらにドンカ・スター地方でも炭坑夫一萬二千人が罷業を開始したといはれる

バルカン首腦 ヒ總統訪問

【チューリッヒ廿二日同盟】ルーマニヤ首相アントネスコ將軍、ブルガリヤ攝政キリル殿下その他クロアチヤ、スロバキヤ、セルビヤ等の最高首腦は先週來、踵を接して總統大本營にヒ總統を訪問し、重要會談を遂げたと傳へられる



佛印及び泰方面 敵機の來襲あるほか變化なく三月中旬における來襲、佛印十五回三十二機、泰八回十四機

緬甸方面 地上作戰＝中部緬印國境トンザン附近において菊印十七師、カバウ谿谷において第二十師に對する包圍殲滅戰を遂行すると共にわが軍は三月中旬印度國民軍を支援しつゝ緬印國境を突破し、またハカ方面よりベンガル灣の要衝に向ふ印度國民軍の進擊も所期の通り進捗してゐる、敵は北ビルマ方面においては三月上旬空挺部隊を降下せしめ種々の良民に暴虐を加へるに至つたが、わが軍は直ちにこれを捕捉攻擊しその一部を殲滅してゐる、又スキヤブ正面の前方も中部緬印國境の戰鬪と同樣わが方に有利

◇航空作戰＝わが航空部隊は地上部隊の進攻に即應し敵航空基地への進攻及び北ビルマ方面の敵空挺部隊の攻擊など連日活躍を續けてゐる、去る十日より十八日におけるわが航空部隊の進攻および邀擊戰果は擊墜五十六、擊破炎上二十三機、地上施設の炎上二十數ケ所、わが方の損害自爆及び未歸還四機

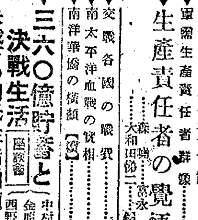
ニューギニヤ島方面 地上作戰＝その後の敵の行動はわが將兵の敢鬪によって頗る制肘されて依然消極的である

ソロモン、ビスマルク群島方面 地上作戰＝ニューブリテン島における戰況はそのうち大なる變化なし

◇航空作戰＝地上戰に反し敵機の來襲は依然執拗を極め特にウエワク地區には連日百機内外來襲

アドミラルティ諸島方面 この方面のわが軍は逐次增強する敵部隊に對し力戰奮鬪中である、ブーゲンビル島トロキナ附近において約一ケ師半の半永久陣地に據れる敵に對し、しばらく對峙狀態にあったわが軍は三月上旬攻擊を開始、敵陣地の一部を奪取し目下引續き激戰中である

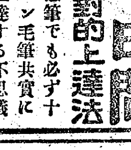
◇航空作戰＝廿日朝カビエンにF6F、TBF、B24など廿機、海上より敵艦艇數隻が攻擊し來つたが所在部隊は敵艦一隻に命中彈を與へて撃退した、廿六日ラバウルにB24、B25、B38、F4F戰爆延百六十機來襲した、わが方は擊墜艦機十機など五機を擊墜、B24一機を擊破した、同日午前ブーゲンビル島東端にB24、B25戰爆延六機來襲、わが方の猛砲火に敵機二機擊墜墮させ潰走



うるほふ女性のために　會陽化學研究所

實業之日本　三月十五日號・三五錢
▼必勝の人口……綿永與一郎
▼總力決戰の秋來る……中柴末純
▼國務統帥緊密化の意義……蠟山政道
▼企業系列の整備擴充……磯部喜一
▼統制會と生産責任制……鈴木重康
▼軍需生産責任者群像……大館良之助
▼生産責任者の覺悟（五篇）……森璜一・宮永能雄・大和田悌二・井村荒喜・熊谷正輔
▼交戰各國の戰費……藤田一雄
▼南太平洋血戰の覺悟……淺岡光正
▼南洋華僑の橫顏（完）……山澤兵部
▼三六〇億貯蓄と決戰生活（座談會）（中村三之丞・今井一男・金原進・塚澤貞夫・西野寅與作）
▼決戰下の國民生活問題……富田勇太郎

一度觸れたら必ず死ぬ製法特許の新藥品　布團の周圍に撒いて寢る。安眠可能
一瓦〇〇　一圓八十二錢　稅込
朝鮮一手販賣元　朝鮮玉置藥品株式會社
販賣元　玉置藥品産業株式會社（舊社名　株式會社玉置商店）



習字十日間 絕對的上達法
どんな惡筆でも必ず十日間でペン毛筆共實に立派に上達する不思議な特殊技法。字で困る方、最短時日で能筆を希望する方へ是非實習を勸む。實驗者皆大喜び禮狀澤山到着一日二時間づつの小忍耐僅か十日間の人知れぬ間にすばらしい能筆を輝かせ給へ。
（ハガキで申込次第說明書無料進呈す。）
福島縣平市五十番　振替東京五〇五四五　精筆堂

胃腸の決勝態勢
通じと健康
「通じは長命の◯」と諺にあります。この眞實性は、近代醫學で、便祕すると痔疾が發生して、胃腸や身體に非常な大害を與へると云ふ事實によって證明されました。ヨーソは、毎日の圓滑な通じをつけ、同時に胃腸の消化機能を强化すると云ふ快通賦活作用によって、幾多の病者から喜ばれて居ます。便祕がちの方、下痢のくせにしぶる方、胃腸弱い方達は早く試して下さい。
快通　ヨーソ
試藥呈　ヨーソ三回分と說明書　東京小石川西原町一ノ三　弘和製藥企劃部宛へ
製造元　東京新橋　弘和製藥株式會社
配給元　日本賣藥配給統制會社

雨注する砲爆撃下に 断乎陣地を死守

不撓不屈、皇軍の眞價を發揮

全山宛ら大火柱

鬼神も哭くピチヤ山の死闘

トロキナ岬に 血戰五ケ月

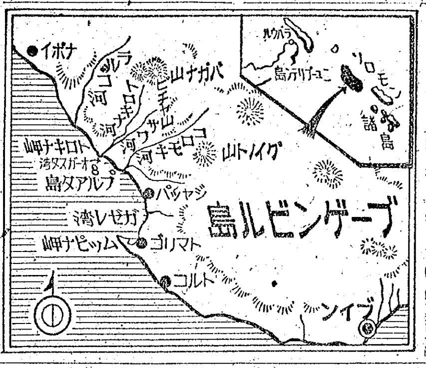
【東京電話】ブーゲンビル島トロキナ岬における敵軍上陸以來の戰闘概況次の通り

十八年十一月上旬

一日敵は航空部隊の掩護下に輸送船廿餘隻をもつてトロキナ岬附近に上陸を開始した、わが所在部隊は發兵これを邀撃して激闘數日敵に大損害を與へたのち同地東南方ジヤワ地區にあつた友軍に合流七日に至りわが部隊は海上機動によつてトロキナ北方四キロの地點に逆上陸に成功、同時にジヤワ部隊も東南方より密林、河、沼を突破して敵に近迫、トロキナを挾撃する態勢を整へ八日南北呼應して猛攻を開始、絶對優勢な敵の猛砲火を冒し白兵敵中に突入し、一時これを海岸線に壓迫したが、トロキナ沖プルアタ島に陣地を構へた敵重砲の猛射によりつひに攻撃頓挫し十日トロキナ東方サワ河左岸に集結した

十一月中旬

敵はわれに追隨してサワ河右岸に進出、爾後續々と機械化部隊を揚陸してその兵力約六ケ師に達した、わが勇猛な將兵はしばく夜襲に挺して敵陣に突入、大なる戰果を收めたが敵の砲爆撃はますく熾烈を加へわが死傷も漸く増大した、しかしわが軍の士氣はいよく軒昂、數次にわたり戰車を伴ふ敵の出撃をピーバ河地區に擁して肉彈粉碎するなど死闘を續け、つひに陣地を死守した



十一月下旬

敵は廿四日クライヨ（トロキナ北西四十キロ）廿九日ナポイへ上陸、占領地區の擴大を試みたが、わが所在部隊はそれぞれこれを猛撃してクライヨの敵を水際へ押し戻し更にタウペ河口の砂洲へ遁走させるとともに、ナポイの敵はこれを密林中に待ち伏せ上陸完了を待つて白兵殲滅を續けた

十二月上旬

敵機は連日來襲し所構はず盲爆を投下したが、わが將兵は些かも屈せずしばしば挺身斬込隊を組織して敵中深く潜入し敵飛行場および物資集積所を爆破するなど鬼神を哭かしむる壯烈な活躍を續けた

十二月中旬

敵はサワ河上流地區ピチヤ山へ進出し來つたが、わが軍は猛然これを反撃、密林の激戰に死闘を繰り返しつひにその一隊を殲滅しさらに月明を利して敵中に侵入、敵を潰亂せしめて山頂を確保した、敵はトロキナ地區を防衛するピチヤ山を重視してしばしば反撃して來たが、わが勇猛部隊はその都度これを手もとへ引きつけて殲滅した、敵上陸以來すでに四十餘日、この間敵の遺屍を算すこと實に八キロ、敵一千四百以上を屠る戰果を收めた

十二月下旬

敵は地上戰闘によるピチヤ山の奪取を斷念、部隊を後退させて爾後分たず熾烈な砲爆撃によつて全山を埋め盡しピチヤ山は宛然一大火柱と化するに至つたので、わが部隊は無念の涙を呑んで遂にこれを放棄しサワ河左岸へ後退した、十二月中における敵の來襲延機數實に一萬二千四百、一日平均四百機以上に達しわが將兵の苦闘正に言語に絶するものがあつたが、部隊は神州鎮護の本領を發揮してサワ河の線に及突撃を敢行、一兵も剩さず鏖殺した、月末に至り待望の自砲が到着し日没を待つて一齊に猛射、敵陣を潰滅せしめた

十九年一月以降

敵はサワ河右岸を第一線に、ピーバ河を第二線に、濠陣地、重砲を配した半永久陣地を構築しわれはサワ河左岸を連ねる線にこれと相對峙して日夜敵の砲爆撃の雨を浴びつつ陣地を死守、只管反撃の機を待つた、敵は一月以來飛行場を一歩も出でず、敵が廿餘門の砲をもつて陣地飛行場に砲撃を行つた

敵、空軍、戰車等の掩護下にサワ河口に進出を企てること數回、その都度大損害を與へて撃退してゐるが、この間トロキナ岬の敵陣中に飛行場三ケ所の設營を完了上陸作戰の目的を達せりとしてゐる如くである

敵上陸當時ブイン方面のわが部隊は急遽北上して敵を挾撃しようとしたが、如何せんブイン、トロキナ間には二千メートル以上の峻嶺廿餘峯、大小水流六十餘、しかも一面の密林と泥沼に覆はれた難地であり、如何に急いでも一日の行程は最大四キロにみたず、オーガスタ灣（トロキナ岬）附近においてさへ部隊の移動は極めて困難な状況で同方面の戰闘の苦難は實に言語に絶してゐる

その後わが將兵は敢然として敵に攻撃を開始するに至つたのであるが、熾烈な敵の砲爆撃の下にあつてこの烈々たる闘魂、不撓の威力は實に皇軍の眞價を遺憾なく發揮したものといはねばならぬ

壯烈、ブ島沖に散華の清宮兄弟

兄は敵甲板に自爆

勇躍、復仇の弟機も遂に還らず

清宮兄弟戰死公表

【横須賀電話】大東亞戰下第一次ブーゲンビル島沖航空戰において鬱留の壯烈な散華をした清宮剛海軍少佐ならびに「兄の仇を討たん」と第三次ブーゲンビル島沖航空戰に出撃、兄少佐につゞいて名譽の戰死を遂げた清宮肇海軍大尉は廿六日他の戰鬪勇士とゝもに横鎮から發表された

横鎮公表（廿六日）

戰死　海軍少佐　清宮剛

海軍大尉　清宮肇

【東京電話＝矢島報道班員記】大君の御楯と散る雲あらば我もつゞかん江田の島はじめて踏みしその日よりけふあるべしと我れは待ちけり

へよ兄貴の仇

大君の御楯と國の人柱我れも加はらん

三宮の歌は第一次ブーゲンビル島沖航空戰に指揮官機先頭の精神を發揮し、燃ゆる敵空母の甲板上に玉と碎けた清宮剛大尉の辭世の句である、大尉には清宮肇中尉といふ弟があつた、弟中尉も「兄の仇討」とばかり十一月十一日第三次ブーゲンビル島沖航空戰に出撃、必殺の魚雷を敵戰艦の横腹に放ちつゝ兄大尉の後を追つて遂に還らなかつた兄弟である

兄死すれば弟はその屍を乘越えて進み、弟斃れば兄はその屍を楯として進む、一族郎黨の大義に殉じた楠氏一黨の如く、今や「撃ちてし止まむ」の決意を固めて必殺の米英を殲滅しなければならぬ秋である、清宮兄弟の壯烈なる空の散華はこの無言の教訓を一億の闘魂に溢れるものでなくて何であらう

清宮兄弟はかつて海軍の翼が特に深かつた、弟中尉がかつて飛行學生の頃兄大尉はその教官であつた、第一線に出ては兄弟共に同じ航空隊のしかも同じ戰闘機に席を並べた、南から北に何千里といふ戰線で兄弟が同じ航空隊にあつて肩を並べることは珍しい事柄なのに、兄弟同じ航空隊にあつて兄の意志を繼いだ弟の決意は凛として壯烈であつた

兄大尉が散つた十一月五日の前夜、兄弟はOO基地で水入らずの盃をくんでゐた「江田島を離れてからこんなに飲んだことはない」とその日から肚烈な自爆を心に描いてゐた兄大尉にはこれが兄弟今生の別れだとの感慨が湧いたことであらう

明けて五日の夕方兄大尉は雷撃機隊の指揮官機としてブーゲンビル島沖指して飛去つた、兄を見送つた弟中尉は航空基地附近の特攻隊の突入せよ」との無電が發信されたのち、指揮官機と基地の連絡はたえて杳として歸らなかつた、弟中尉は兄大尉の身の上は如何と案じつゝも「突入せよ」の無電を聞いた、敵空母に命中の黒煙が立ち昇つた、敵空母に魚雷を抱いて體當りしたのは兄大尉機であつた

その日から弟中尉は兄の仇を討たんとの決意に燃えてゐた、十一月十一日の第三次ブーゲンビル島沖航空戰には早くも選ばれて兄の仇を討つべく出撃したのである、地上の人達は「敵の艦隊を撃破せよ」「兄の仇を討て」と心から祈つた、しかし清宮中尉機も遂に還らなかつた

雷撃機の一隊は勇躍、一團となつて敵艦隊に殺到、見事命中の火柱が上つたが、敵の防禦砲火は集中され清宮機は火の玉となつて敵戰艦の甲板に玉と碎け散つた、容易に發見され、やがてその巨體を海中に沒してしまつた

副食材工場も内地から誘致

鮮内技術を充實

大阪の某製工、金子鐵工およびその他の製罐工場が鮮内地メーカーの鮮内進出により以上の施設技術の補強向上と生産能力の增强が期待されてゐるが、内地有力メーカーに資材までも一應内地に生産させることとは大陸生産を生命とする高速時の生産能率を抑へて進出する精神を認識して行くことになるので、部分品の製作は從來通り内地に求めるが内地の機械は從來の生産力に依存し半島の機械を以つて半島に於ける不足品の工場の現在の技術を以てしては内地より誘致する方針である

半島も増産に蹶起

内地の輕金屬増産期間に呼應

航空戰力の急速增强を圖るため政府は十九年度第一、二四半期を期して輕金屬決戰増産期間を實施するが、輕金屬第二次増産計劃の重點が大陸に指向されてゐる現状より朝鮮としても内地に呼應四月一日を期し大々的増産運動を展開することに決定、目下總督府鑛工局で實施要綱作成中である

朝鮮としてはアルミニウムは内地よりのアルミナおよびペーストの供給に依存するところ極めて大であるが、内地におけるアルミニウム生産計畫が豐水期たる上半期に主力を注いでゐる關係上、右アルミナの供給力に關係住友、朝鮮電工等大工場の建設状況よりアルミニウムについては新設工場建設促進に重點をおき、他方、マグネシウムの増産を強力に推進する方針である

なほこれがためには關係各道に設置されつゝある輕金屬増産推進委員會の積極的活動と共に末端行政部面への輕金屬増産の重要性滲透を圖り軍官民一體となり飛行機の飛躍的増産に邁進することになつた

民間各界の建設的意見

東經專門委員會の三答申案

東亞經濟懇談會朝鮮委員會内大東亞經濟朝鮮專門委員會では二月廿二日總督府から諮問された鑛工、農林部門における計畫輸送完遂、都市農村における浮動購買力の吸收封鎖、需要物資の配給統制に公定價格制度の改革、日常生活必需物資の配給に對する末端組織の整備の四項目に關する具體的方策の答申案を決定するため、廿五日午前十時半から京城商議會議室に主査會議に幹事會を開催

經營委員長をはじめ、萩原（三）林（繁）股野、林（茂）陸軍、石原電工、廣瀬海運、横瀬炭砂、君島金融會主査、總督府から山名鐵道局長（代理服部鐵道事務官）の各分科長、鈴木京大教授、藤永海軍少佐、杉山京城商議理事ほか各幹事出席

十五日答申した都市農漁村における浮動購買力の吸收封鎖方策を除く三項目について、各委員から提出された意見を檢討の上、答申案を決定した、よつて同委員會は廿七日總會委員長名をもつて總督府に答申する豫定であるが、この答申は朝鮮における經濟界の權威者が民間各方面から學界の權威者が民間各方面から遺憾なき希望の建設的意見を採り入れて研究檢討の結果成案化されたもので、下意上達の革新的具體案ともいふべきものである

その内容は大體一項目につき四つの意見を答申してをり、總督府が今後これを如何に各種施策に具現して行くかは頗る注目される

取得價格で轉用

整備施設へ評價基準

鑛工局では企業整備に伴つて轉用される重要設備の評價價格は取得價格によることに決定した、即ち企業整備によつて整理へ轉活用される設備は尨大な數に上るものと豫想されるが、轉用設備價格を時價を以て評價すれば生産費の著しい昂騰を招き生産價格に及ぼすおそれがあるので、原則として取得價格を評價基準にし

これが損失補償は重要物資營團が補償することゝなつてゐる

東經朝鮮委員會幹事會

東亞經濟懇談會朝鮮委員會では廿五日午前十一時半から大東亞經濟朝鮮專門委員會幹事會に引續き朝鮮委員會幹事會を開催、昭和十九年度豫算及び事業計畫案を附議した結果、原案を承認し、本部の事業計畫と睨み合せて決戰下に即應する事業計畫を樹立すべく幹事を指し新年度に入つて協議決定することとした

三分一以下へ

家具工業整備

家具工業は第一次企業整備の對象業種と指定され、目下朝鮮家具工業組合聯合會において整備案を研究中であるが、今後における原料の逼迫と相當の縮減整理を斷行せねばならぬ現状にあり、組合員千四百、五百餘人（うち京城四百）を擁する業者の大部分は小規模經營であり、現在までは手持資材をもつて營業を繼續して來たものも相當あり、現在までは手持資材の確保も困難となり、京城をはじめ各所の業者は現在の約三分の一、その他の地方は四分の一程度に整理されるのではないかと見られてゐる

三億八千萬圓

金組聯貯蓄高

朝鮮金融組合聯合會の十八年度貯蓄額は二億一千萬圓であるが、昨年末頃には豫定額を突破し、最近に至つては決戰貯蓄運動の徹底と國民の貯蓄心の昂揚と相俟つて三月末迄に三億八千萬圓達成を豫想されてゐる

司法官大異動

司法事務の決戰化に伴ふ一齊措置施行に關し總督府は廿五日附で次の如く司法官の大異動を行つた、今回の異動により豫備判事充實を圖り、決戰下司法事務の圓滑な實施を期したものである

釜山地方法院長　判事　阿部剛一

高等法院部長　大田地方法院長　判事　宮元庄藏

補釜山地方法院長　判事　菊地壽助

補大田地方法院長　大邱地方法院部長　吉川園本

補京城地方法院部長　高等法院判事　増村文雄

補大邱覆審法院判事　京城地方法院部長　米田太市

（以下司法官異動、判事・檢事の發令多數）

週間世界の動き

獨の進駐電光石火

洪補強工作に敵啞然

ドニエプル河を越えて强引に進撃した赤軍を前に獨軍は非常措置としてハンガリー進駐を斷行した、ハンガリーが如何に東部歐洲の現戰局に重要な地位を占めてゐるかは多言を要しないだらう、ハンガリーは獨軍の南部戰線における對ソ防禦の一環をなしてゐることはいふまでもないが、同時にこの國はドイツの生命線たるルーマニヤとドイツ本國とを結ぶ最も重要な交通網を形成してゐるのである、バルカン死守を前提とする限り獨軍として早晩こゝへ强力な兵力配置を行はなければならないことは既に豫想されたところであつた

外電は十九日ヒツトラー總統が大本營にホルテイ、ハンガリー攝政を招致會談をとげたと傳へてゐるが恐らくこの會談において兩國の諒解が成立し、時を移さず獨軍の進駐となつたものと解される

この種の非常措置にはとかく誤解が伴ひ易いものであり、時としては流血の惨事を惹起することも往々にしてあり得るものであるが、獨洪兩國間の不祥事を見ることなく圓滑な進駐が完了したことは、三國同盟によつて結ばれた兩國の緊密な提携を物語るものといつて差支へない

獨軍の進駐と同時にハンガリー前內閣は總辭職し前駐獨公使ストヤイ氏を首班とする新內閣が組織された、右の事實は獨軍進駐による國防態勢の强化と竝行して國內の政治態勢にも刷新强化が行はれたものと解されるべきだらう

そして東部戰線の危機を前に電光石火の如く斷行されたハンガリー補強工作の背後に、我々はかつてイタリーの危機をよく切抜けた時の獨參謀本部の鍵だけを想起することが出來るのである、チヤーチルは獨參謀本部の恐るべき手腕を發揮してゐる、イタリヤ戰線における最近の戰ひはこれらの諸點が本當であることを立證したと今回のハンガリーに對する處置についても恐らくチヤチールは同樣な感を深くしたに相違ない、さうしてこれこそ正にドイツ軍の本領とするところであり戰況の有利なるにも拘らず依然敵を威怖せしめてゐる所以でもある

第二戰線の蒸返し

ウクライナ、ベツサラビヤ方面において赤軍が顯著なる進擊を展開しはじめたところから再び歐洲第二戰線問題が世界の注視を集めてゐる、この機會を逸しては恐らく軍事的にも政治的にも米英はソ聯に遅れをとらなければならないだらうといふのが一般に第二戰線の實現性を信ぜしめてゐる第一の理由である、これを裏づけるかの如く各方面の報道も

一、英本土南岸各港で待機中の反樞軸軍が乘船を開始したらしい

一、英國當局は東海岸六十哩の沿岸地帶に亘る地帶を立入り禁止區域に指定した

一、米軍基地のある北アイルランドへの旅行も禁止された

一、北フランス海岸方面に對する爆撃が强化されはじめた

一、アイゼンハウアーやモントゴメリーが口を揃へて最終的攻勢切迫を豫告してゐる

等々緊迫した反樞軸の動きを傳へてゐる

昨秋十一月米英ソ三國代表がテヘランにおいて會同した結果三國は東方、西方、南方の三方面よりとるべき作戰の規模並に完全なる同意に達したと發表されてゐるが、賢明米英は第二戰線を名目として一方西方よりの攻勢を實行する樣子を見せないばかりか國內には依然から政府自體の意圖を反映するかの如く第二戰線不可能論すら擡頭するに至つた、そして今年初頭以來ソ聯が東部上陸を前面に協同し得べき大攻勢を展開したにも拘らず南部イタリヤで米英の後塵ずら現出する有樣であつた、かうした戰況の實際も反映して最近ソ聯の政治的攻勢は宛然米英ソ三國の政治的暗鬪であり、特に地中海方面に於ける政治的進出は著しく飛化した

これに對抗して米英が自己の政治的發言を讓歩しようとするならば既定の第二戰線を實行する以外に方法はない、恐らくかうした經緯を辿つて最近再び第二戰線機運が擡頭したと思はれるのであるが、かゝる動機の下に若し第一戰線が決行されたとしてもその結果は知るべきものがあらう

五十坪以下にも許可制

臨時農地等管理令改正

【東京電話】農地の耕地利用を圖る必要から農商省では臨時農地等管理令を改正すべく準備を進めてゐたがすでに二月十日の總動員審議會における答申を經、去る二月一日の閣議に附議決定上奏御裁可を得たので、廿五日附で改正勅令ならびに省令を公布、即日實施に移すことゝなつた、今回の改正要點は次の如くである

勅令改正要點

一、農地を賃貸又は小作契約を締結せんとする場合は地方長官の許可を要す

二、但し左の如き場合には適用しない

（１）既に賃貸借してゐる場合

（２）賃借者の一方が國都道府縣又は農地開發營團の場合

（３）自作農創設の場合

（４）農地交換分合を行はんとする場合

三、地方長官必要ありと認めた場合はその勅令の一部を市町村長（六大都市にありては區長）又はこれに準ずべきものに委讓することが出來る

施行規則改正要點

一、從來農地の改廢面積五十坪以上のものについては地方長官の許可を要することになつてゐたが今後五十坪以下の小面積のものについても許可を要することゝし又、都市計畫法に基づく區劃整理を施行若くは施行中のものについて取上げられ、その後これが許可を要する農地の交換とは次の如き場合を指す

二、許可を要する農地の交換とは次の如き場合を指す

（１）農地の所有權若くは永小作權の交換又は所有權と永小作權との交換を行はんとする時

（２）市町村農地委員會の斡旋に基き農地の交換分合を行はんとする時

（３）土地收用法その他の法令により農地を收用するもの、その農地を買収せんとする時

三、地方長官が市町村長に委讓するを得る權限は農地の永小作權若くは賃借權の讓渡若くは轉貸、農地の永小作權設定若くは賃借契約の締結の許可に關する場合に限る

農器具配給一元化

【東京電話】農器具の下部配給機構整備については昨年十月十六日戰時農器具緊急對策中において配給の一元化を圖ることになつてゐた、この配給機構は組合製品については從來の配給組合又は農業會の系統に一元化して給を改め、今回の農器具の配給は從來の二元配給組合又は農業會の系統組合の組合長（農業會長）に申出があつたので、同省では關係各省と協議の上、三月三十日附で地方長官宛通牒を發した、これに伴つて從來の農器具配給組合は解散の上、三月五日名の組合員は之を組織的に農業會の系統の團體に於て一元化することとし、決定を見るものである、從つてこの配給において資金等の運營を期する方針で五月中に整備を完了する見込である

血戰錄

京城府龍山區のある雜貨店では商店に砂糖、味噌、醤油その他の食料品を賣らないとの事である。これはたまく賣つて貰へなかつた者のひがみから來たデマであることを銘記する▼一億がかつちりと手を組んで戰爭生活に徹せねばならない秋、こんな悲しからぬ噂があるべき筈はないし、又あらしめては斷じてならない。消費者がどの店に登錄しようと自由だし、登錄數の少いのは、自己の商賣が商人道に悖るところあつたための自業自得といふもの。人を卑しむ資格はない▼武士に武士道ある如く、商人には商人道がなければならぬ。また商業は、特に戰時下の商業は営らんがため、儲けんがための利己的個人的のものでなく、物資配給の國家機關となつてゐるのである。一本のたばこも分け合つて喫ふ前線將兵のあの淚ぐましいまでの戰友愛が、今日ほど我々銃後に必要なときはないのだ。商人は從來の功利的考へを一擲して少い物資を如何にしたら全部の人達に公平に配給出來るかにつき誠心こめて精進して貰ひたい。お客も金を出して買ふのだとの唯物的な考へ方を棄て、その物を生産した人、運搬した人、賣つてくれる人等々の、その物にこもつてゐる人の誠心に感謝しつゝ分けて戴くといふ態度になることが必要だ▼「賣れ」——「ないー」「そこにあるではないかー」「賣殘湿みだー」毎日店頭に見られるかゝる情景、この戰闘線挑戰しよう。明るく正しい銃後——これ以外に戰力增强も、勝ち拔く途もないのだ。

クロバー　高級口紅　頰紅

朝鮮證券一般取引員　ウ　内海證券　京城明治町・電話本局代表②三一二五番

電氣用　無線用　各種計器、測定器　修理、並調整　東邦電機製作所

名曲レコードは　京城樂器商會

企業整備の特殊預金　年三分九厘　株式會社朝鮮殖産銀行

朝鮮火災　火災保險　海上保險　運送保險　傷害保險　戰爭死亡傷害保險　京城府太平通

信　全國の調査機關　資産　信用　結婚　身元　商國興信所京城支所

婦人科　美神丸　●子宮内膜炎・白帶下　●手足腰冷ね込み・痛み　●月經不順・急性慢性膣炎　試藥進呈　大阪市東區南久寶寺町　本舗　宮内善進堂

ぜん息・神經痛　中風・高血壓　血の「濁り」をとり原因から治療せよ　不治でない　今津藥研究所

合成女性ホルモン　エステル型　生理障害　更年期障害　オイヘスチン錠　武田藥品工業株式會社

新女苑　四月號　マーシャル・トラックの將兵を憶ふ（日野葦平）　決戰食生活への切替へ　歴代御製謹解　日本女性語錄　職場の華・女子挺身隊　女子挺身隊の歌　雲にそびゆる　扶桑華

證券市場

強保合（廿五日）　押目には引續いて買氣旺盛で、資金の手持は依然として強保合を示した、目先も現状より押して活潑な値動きは期待し難い

◇朝證長期取引

銘柄	前場	中	先
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遊仙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇朝證實物取引

◇大阪實物（前場）

地株利廻表（秋田證券調査）

城山農業役員改選

朝鮮無煙炭では決戰下無煙炭の増産を行ふ一方城山農業株式會社の經營を兼營して來たが、今回...

總督府辭令

（廿四日）遞信書記　帥野秋就

任遞信書記官（七）

平井滿鐵副總裁任命

【東京電話】滿鐵副總裁佐藤應次郎氏の辭任に伴ふ後任には北支交通理事平井喜久松氏を起用することゝなり廿五日内閣より左の如く發令された

南滿洲鐵道株式會社副總裁仰付　平井喜久松

北鮮開發　食品工場を新設

北鮮開發はかねて自社鑛山の從業員及び家族用の食品加工場を研究中であつたが、今回恩山にその加工場を新設することとなり、機械、設備の據付を急いで五月頃から操業を開始し、日産ウドン三百五十貫、マカロニ一百七十貫の生産に乘出し、これを食糧代用食として供出することになつた

ビルマ企畫院新設

【ラングーン廿三日同盟】ビルマ政府はこのほどラングーン市以下二廳を除く全國三十四縣を一級縣、二級縣、三級縣の三者に分ち、縣地區に對して施策の緊急なる諸縣を一級縣とし緊急度これにつぐものを二級縣および三級縣として一級縣に對してはそれぐ知事のほかに副知事を置き次下級官吏の自由任免權を地方各廳に與へさらに縣民の戰爭協力に對する啓蒙運動を制定するなど戰爭遂行に即應するやう地方行政の刷新强化をはかることゝなつた

また政府は近く内閣に企畫院を創設、之に國政各般の樣運營を集め日本人顧問の支援のもとに國策の基本的企畫を行はす豫定であるがその開設はビルマ國の飛躍的擴充を實現するものとして各方面より期待されてゐる

白外科病院　院長　醫學博士　白麟濟　副院長　醫學博士　金在善　醫師　大原永徳　醫師　伊東　京城府中區二丁目　電話本局②0270・9747番

畏し、皇后陛下

譽れの遺兒にお菓子を賜ふ

【東京電話】護國の神と去りませし父に兄に慢しの對面をする軍人援護會主催『靖國の遺兒參拜』は今年は時局柄極めて縮小されて廿七日を期して各府縣毎に護國神社に參拜することになつてゐるが、畏くも皇后陛下にはこの趣を聞召されこれら六千五百名の遺兒に對し例年靖國神社に參拜した時と同樣お菓子を下賜せられる旨この度御沙汰あらせられ小泉厚相は御仁慈の程に感激して廿五日次の如き謹話を發表した

厚相謹話　畏くも皇室におかせられましては軍人援護の事に深く大御心を垂れさせ給ひ數々の有難き御沙汰を拜してゐるのでありまして皇恩の洪大無邊なることはたゞく恐懼感激の至りに堪へません、この度戰歿者遺兒の教化指導に資するため本月廿七日各地方において六千五百名の戰歿者遺兒を護國神社に參拜せしめ、またはこれに代るべき行事を實施すると致しましたところ、畏くも皇后陛下にはおもひをもつてこれらの兒童に賜物を御下賜あらせられる旨有難き御沙汰を拜しました、誠に恐懼の至りでありまして、思召のほどは兒童の胸裡に深く刻まれることと存じます、つきましては三月廿七日それぞれ地方において思召の存するところを十分に徹底させ賜りたる物を傳達することと致します、この光榮に浴する兒童はもちろん全國多數の戰歿者遺族をはじめ一億國民ら拘しく皇恩の有りがたさに感泣することでありませう、私共はこれら名譽ある遺兒をして思召に應へ奉らしむるため護國の英靈となられたる父の遺志を繼承して心身を鍛錬しますく皇國または勤勞に勵んで將來忠良なる國民となり御奉公の誠を致すやう今後一層その保育教養指導の全きを期する覺悟であります

米空軍恐怖の的、感狀の尾崎中佐

撃墜實に十九機

大陸に逞しあゝ俊翼の跡

【東京電話】尾崎中佐が坂川戰闘部隊の中隊長として○○基地に着任したのは昭和十八年四月九日わが在支航空部隊が日本々土空襲の企圖を露骨化し來つた米第十四航空隊に對しまさに殲滅の火蓋を切らうとする矢先であつた、爾來八ケ月に亘り帝國の大空に續く大陸の航空殲滅戰に挺身眠戰し熾烈の勇を揮つた中佐の俊翼の跡を辿れば左の如くである

第一期（十八年四月九日—六月廿日）四月二十四日敵を衝んで敵殲滅の好機を待つたわが精鋭戰闘隊は空中決戰による敵戰闘隊の一氣殲滅を期して大舉衡陽飛行場に殺到した、これは實に

中佐初陣の一戰　であつた、爾後しばく零陵、衡陽に敵機を索めて進攻すると共に五月初旬から展開された中支軍の湖南進攻作戰に協力し連日なき激戰を續けたが雨天候などの不利な戰闘條件に加へて中佐がその片腕と恃んだ吉田中尉を長沙上空に失ふなど困難な戰闘を續けた、しかし中佐の不撓闘志と果敢な戰闘精神はこの困難に處してますく玉成され第二期以降において中佐が身をもつて示した戰闘隊の指揮の基礎を確立したのであつた

第二期（七月一日—十月卅一日）在支米空軍はさらに増強の度を加へ桂林、衡陽、零陵などの前進基地を利してしばく武漢南支方面に來襲するなどその跳梁侮り難いものがあつた、わが航空部隊はまづこれら前進基地および重慶、昆明、遂川その他江西、湖南、四川各省の敵本據に對して果敢な進攻を實施すると共に

敵の來襲を邀へ　て各所に熾烈な邀撃戰を展開、大陸空の決戰はいよく本格化するに至つた、我が部隊は主力をもつて南支方面に一部をもつて遠く廣西、雲南の奧地に進攻し所在敵機の殲滅に奮闘したが尾崎中佐は中隊の全力を率ゐてこれらの作戰に參加し、同期間を通じて中隊の戰果撃墜三十三機、このうち中佐自ら敵十四機を屠り他の二機を撃破するの赫々たる偉勳を樹て一躍尾崎戰闘中隊の勇名をはせた、なかんづく敵が不落を誇るコンソリB25に對し猛烈な防禦砲火を冒して捨身の肉薄攻撃を敢行、中隊で七機中自身はその大部分たる五機を撃墜二機を撃破して卓拔なる戰闘技倆と必滅の信念を確立したことは全軍の士氣を昂揚すること多大であつた、特に○○において敵B24、P38の戰爆連合編隊を邀へ撃つや友軍及び日華官民環視のうちに來襲機の殆ど全部を片端から撃墜撃破する痛快な武者振りを示し爾後同方面に對する敵機の猛跳は跡を絶つに至つた、この期の末期常德作戰實施中のため友軍の揚子江輸送が開始され部隊はその掩護に任じ見事に任務を完遂した

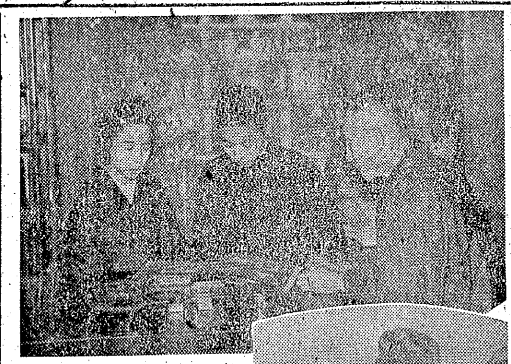
第三期（十一月一日—十二月廿七日）わが航空部隊は全支に亘つて猛烈な米空軍殲滅作戰をもつて續行し主力をもつて中支地區、一部をもつて廣東地區から衡陽、零陵、遂川などに

反復攻撃を加へ　ると共に十二月中旬桂林、柳州、南雄などに進攻さらに常德作戰および廣東附近において敵機を捕捉した、常德作戰開始と共に中佐の屬する部隊は武漢地區にあつて上空に來襲し來る敵機としばく壯烈な空中戰を展開、多大の戰果を收めた、十二月に入るや中佐は部隊の中堅中隊長として衡陽、零陵、遂川などに對する巧妙果敢な奇襲攻撃に參加し困難な夜間奇襲に際しても卓越した戰闘をもつてよく所期の目的を完遂し敵の心膽を寒からしめさらに下旬迅速な機動力を發揮して桂林、遂川などに轉戰重疊、廣東における敵機邀撃戰にも參加して常に赫々たる戰果を擧げた、最後の十二月廿七日敵の戰爆連合部隊が遂川に進出反撃を企圖する狀況を示すや坂川部隊に對し爆撃部隊と連合して一氣にこれを先制殲滅すべき命令下り遂川上空に迫つた中佐は中隊を率ゐて爆撃部隊の

直接掩護に任じ　敵戰闘機の妨害を排除して功にわが爆撃部隊の攻撃を遂行せしめ目標は敵飛行場を破つて炸裂、地上にあつた多數の敵機は一瞬にして飛散しわが目撃部隊は見事な大成功を收めた

しかし敵戰闘機廿數機は爆撃部隊につかんとするわが部隊に襲ひかかつた、中佐は中隊の全機を指揮して力戰奮闘果敢な反撃を加へ敵をして一指もわが爆撃部隊に觸れしめず任務を完遂したが中佐の愛機も致命部に損傷を受けた

此時僚機羽澤機　に敵機が來襲しまさに危殆に瀕すると見るや中佐は敢然不自由な愛機を驅つてこれに突進し羽澤機に追尾する敵P40に正面から激闘を敢行、愛する部下の危急を救ふと共に自らは皇軍戰闘隊の華と咲かせて遂川西南約十キロの地點に壯烈無比の自爆を遂げたのであつた、十一月以降における中隊の戰果は撃墜十八機、中佐は自らその五機を落しさらにB24十六機中十二機を撃墜に至り、屠り、最後に……してゐる



非常に深い研究心

少年の頃を語る　令兄の尾崎大尉

【平壤電話】大東亞戰の華と散り二階級特進の恩命に浴した尾崎中和中佐は東京都四谷區若葉町二丁目一九ノ一遞信技師海軍中佐尾崎良信氏の二男、少年時代から飛行機に心をよせ、伯父小池武夫氏（日本航空會社局長）の血をついで飛行機には熱烈な愛着を持つてゐた、府立一中から幼年學校に進み、士官學校は第○○期、大の運動家で劍は勿論、テニス、野球の選手であつた、少尉任官後は各飛行學校の教官として勤任、大東亞戰勃發するや中支戰線で航空部隊の指揮官として赫々たる武勳を樹てたが、つひに護國の華と散つた

遺族には尾崎良信氏（六〇）母初子さん（五〇）弟信和君（一九）（東京都立一中在學中）と長兄尾崎良和大尉の四人で

同大尉は現在朝鮮○十二部隊で活躍中であるが、中佐の生立ちを次の如く語る

あれは幼少の頃から非常に研究心が深く、中學時代には日曜日には必ず昆蟲採集に出かけたり機械の部品を引張り出して讀み耽つてゐた、飛行機に行つてからも時々便りをよこしたが、手紙には『自分の愛機は素晴らしい、この愛機で敵を片ッ端から叩きつけるのは男子の壯快これに過ぐるものはない』など元氣のよいことばかり書いてあつたが、本人も武人として大空の御楯と散つたことを定めし滿足に思つてゐるでせう

【寫眞—右より尾崎中佐の嚴父良信氏、令弟信和君、母堂初子さんと在りし日の尾崎中和中佐】

不出世の荒鷲　坂川部隊長談

【○○基地同盟】坂川敏雄部隊長は尾崎大尉の光榮に感激しつゝ次の如く語つた

軍人として特に航空機搭乘者として人格識見技能など備へなければならぬ點は數多くあるけれども尾崎大尉はこれらを全部備へてゐた、彼こそ軍神に値ひすべきものだ、今もまたこれからも幾多の軍神がつゞくかも知れないが彼のやうなものが現はれるだらうか、しかし彼は誰にも劣るものではない、一人一機をも侮らず今日彼のやうな不世出の『空の勇者』を失つたのは部隊にとつても一大損失といはねばならない、私は部隊を率ゐて闘ふとする時の時も尾崎大尉を思ひ起すであらう、あの日『昭和十八年十二月廿七日』以來我等は彼の肉聲を聞くことが出來ないのは寂しい、私は部隊長として心から彼の戰死を惜しむと共に部隊長として餘りにも大きかつたその武功を讃嘆したい

徴兵進發

—2—

傳統・七十二年

輝く皇軍の淵源

榮光の扉開かれたり—護國の赤心沸々と燃え立つ半島二千五百萬同胞の前に嚴然として開かれた"半島徴兵"の道標、昨年

八月一日の　あの日の感激は永久に忘れることが出來ない、國を擧げて八ケ月烈々たる決戰意識に半島の山も野も、都市も農村も、工場鑛山も決戰色いよいよ濃烈に"撃ちてし止まむ"の總進軍の渦として沸り立ち血に昂ぶるわが子を、わが弟を、わが父を、戰列に直接繋がる生産陣へ、あるひは少年兵へ、また徴兵に送り出し"お召しあればいつでも—"の激しい國熱火の心構へは徴兵制第一陣を承る徴兵壯丁檢査は愈々四月一日から、待ちに待ち焦がれ上げた全半島〇〇壯丁の心身は打てば響かん"兵"の姿になり切つてゐる、八ケ月前の感激を新たにした半島の若人は遂に"徴兵"そして今

決戰四月の　戰場に立つ壯丁檢査の幕あきを思ふとき遥か七十二年の昔、日本兵制の根本を國民皆兵主義による徴兵制を斷行した當時を回顧せざるを得ない

武士といふ特權階級を一擧に解消し"光榮ある軍門"を四民平等に與へ一文字に押し開いた維新の先覺者たちの苦心奮闘の偉業を思ふ、百姓、町人として蔑まれた國民の大多數階級が等しく陛下の股肱として國防の重責を擔ふべき日本本然の姿に復古したのだ

今次半島徴兵の大感激により二千五百萬同胞は欣喜雀躍して一億戰列に征で立つ、渾沌の中から兵の大義を打出し國民徴兵の大道を確立した七十二年前の當時は勿論

愛國の至情　に沸る現在の半島の熱意に對照し得べくもないが"徴兵"に沸く熱だけは一抹の相似が浮き上る、日本の徴兵實施當時を回想し半島壯丁に和やかな餞けとしよう

◇　◇

徴兵を論ずるにはまづ維新の先覺者の苦心を偲び、宇内に冠絶する皇軍の生み立ちを一瞥せねばなるまい、明治維新の大業成り大政奉還後の新政府は封建的實力を解消して國軍として統一する第一步として、諸藩の兵權を統制せしめ新政府直屬兵力を御親兵とした、明治四年薩長土三藩から歩兵九大隊、砲兵六隊、騎兵二小隊、計一萬の御親兵が

國軍の濫觴　である、この御親兵を持つにいたつたことは大いに政府の威容を加へこれを背景にして各藩に臨んだことが大きな契機となつて廢藩置縣の大業も遂成されたと見てよい

つた、大村の脚下には文久三年長州藩が米佛蘭三國と交戰し連敗の苦い經驗から兵制の根本的改革の必要を痛感し、砲火による戰闘は武士階級の鬪魂を主にするもので一個人の格闘力の如き問題ではない、然るに個人的格闘力を誇りとする當の門閥武士は依然昔の久しき慣習の虜にされまだ用ふべくもない

兵制改革は求められないと確信してゐた、その麾下にあつたのが大村であり、大村の遺志を繼承した長州奇兵隊の錚々たる山縣有朋だつた、歐洲の兵制調査から歸朝した山縣兵部大輔は明治四年十二月軍政改革の建議をなし、内地の守備沿海防禦および陸海軍幹部の養成、兵器糧秣の貯蓄、砲臺を築き内地守備には徴兵制を採用するの急務なるを述べ

『今島國その制を定め、男子生れて二十歳にいたり身體壯實にして故障なく兵役に充てしむべき者は士卒を論ぜずこれを皆兵に屬し、現役を經、家に歸らしむべし、然るときは全國一夫として兵ならざるなく人民の住む所として守備あらざるなし、かくの如くして守備の設け始めて具はるといふべし』

たのである、この大論策を他の一面から觀れば明治維新の根本はこれまでは國内に敵ありと見て對立してゐた德川幕府中心の社會組織を改めて敵は國外にありと見通して全國的に社會を組み替へた制度變革である、この變革の播

兵の武士では餘りに微弱であり、國家の"兵"の組織は武士階級の獨占的な地位では自衞を達することが出來ないので、こゝに國家部を排し徹底的根本的に兵員の組織へと轉換しなければならなかつた

◇

大東亞戰爭は全世界を極東、反樞軸の二つに分け一方の國家群が他の國家群から抹殺され終るまでは他の國家群は斷じて矛を收めないのだ、況や大東亞

十億の運命　を双肩に擔つて皇國の興亡の重大は曾古未曾有である、今その輝く皇軍の戰列に飛び込まうとする半島同胞の意氣たる誠して七十二年前の百姓町人階級の類であつてはならぬ、"榮光の軍門"は大東亞戰に通じて燦と輝いてゐる

二十歳にいたり身體壯實にして故障なく兵役に充てしむべき者

精鋭を選び　堅忍なる武裝と熟練とを兼備し、嚴肅的訓練を施さねばよく洋夷に對抗し得んと武士階級を見切り、將來どうしても徴兵制を以てしなければ眞の精兵を

天皇陛下の　御下に三千萬臣民が擧一に勵り強大なる外敵を防禦すべく、國家の命脈を保持し、建國の精神を擴充するにあつた

十一月廿八日畏くも明治天皇は全國徴兵の詔を下し賜ひ、ここに從前の士族の兵職を解き、士農工商の區別なく兵役に服するといふ國民皆兵の古制に復し愈よ徴兵令は施行されたのであり國軍は完全に確立し、この外敵に對するには內地的政治のみによつてのみ當てられた四十官兵の風俗

【寫眞＝維新當時の軍裝】

トロッコに乘つて現場へ

山の戰士に諄々說く重大任務

【內金剛にて木村特派員發】容川鑛山に着いた小磯總督は廿四日午前九時自動車で同所を出發、北漢江の流れに沿つて行程廿里を一路疾走して同十一時半金剛鑛業山鑛業所に着、小憩ののち午後一時半金剛山鑛業所長らの案內で鑛山事務所を訪れた總督は同所の運搬用トロッコに乘つて坑道に着き、さらに中川所長、永井技師より鑛山およびその遠景を聽取し、つひで第二工場を視察、四十名の鑛員および少年勤勞隊から廿四日まで宿泊の光榮に浴した

務所に對して同鑛山、工場が大東亞戰爭遂行上如何に重要任務を負ふてゐるかを說き、特に勤務に對しては一層その努力を望むと激勵の辭を與へて同所を辭し、午後四時鐵原驛着、六時內金剛着、直ちに宿舍長安寺莊に入つた

牛島學徒の教學鍊成會

【宇治山田電話】大東亞戰完遂目指して邁進する日本の兵站基地として半島の擔ふ使命は愈々重且つ大なものがある、文部省では朝鮮總督府と提携で內地各大學、高專に在學する朝鮮出身の半島學徒の教學鍊成會を十八日から廿四日まで聖地宇治山田市の神宮皇學館道場で實施した

東大、明大、日大、東京工大、東京府立醫大、大阪醫專などに在學する四十一名の若き血に燃え立つ半島學徒は十八日神宮の遙拜に始り道場に入つて以來曉と共に起きて禊し、午前は學科、修養、講話、午後は重事教練、國民精神の陶冶、鎭道場長の訓話を聽き館長の講話を端座して聽く山田皇學館長大島校長、陽田教授の講話などひたすら精神を鍛へ修身を、國の學生の睨りに明るく澄み渡り、國民の皇國民の寄付を擔ふとの決意を新たに、朝々として續いた かくて一週間の鍊成を終り廿四日正午から教育局の長川岸文三郎中將、高田文部省督學官らを迎へて嚴肅な修練式を舉行した

"信仰の生活で範を示せ"

總督、江原道の鄕導農家を溫く激勵

半島農民の向上に盡さんとする努力を惜しまない小磯總督の熱意を如實に示す美談—去る九日慶北山形鄕から江原道鐵原郡に入植した自作農の開拓者たちが自作農業家の開拓の生活を營んで食糧増産の好模範たらんと汗を流してゐる模範農家と小磯總督の感激の對面があつた—廿五日江原道を旅行中の小磯總督は鄕里山形鄕から入植した十戸廿名の人々がその後どんな生活をしてゐるかを心にかけてゐたが麟蹄郡不二農場のある鐵原を通過するので、その後の狀況を聞くべく手配をしたところ時間の都合で農場を訪問することが出來ず、代表者が驛頭から乘込むことになつた、午後四時總督の列車が鐵原驛につき、開拓者鈴木榮作氏が乘込み挨拶すると間もなく彼方の山麓で五六人の耕作中農夫が總督の車に向つて手を振れば總督もしきりに伸びあがつて手を振りからこれに應へる、乘込んだ代表者鈴木さんにその後の樣子を聞く總督の態度は我子に對する慈父のやうであつた、入植當時の隊長石井氏は先頃名譽の應召を受けたので鈴木氏が代つて隊長になつたが一層開拓農家の人々に奉仕精神となり、早くも堆肥増りや肥料に取組つてゐるなどの報告を聽いた總督はその後の家庭事情とか屋宅を新築する際の注意から『井戸水はどうか』など詳しい生活上のことまで訊ね更に

現狀に安閑とせず半島農民と同じやうにならず、飽く迄も生活の向上を圖つて周圍の農民を指導するやうに努力して欲しい、それには信仰を中心とした秩序ある生活をもつて範を垂れるやうにすることが必要だ、江原道は栗栖明神の御靈跡もあり神樣を祀つて信仰を基礎とした農國農道確立へ邁進することが一番良い方法である

と諄々と鄕導農家の行くべき途を說いた、聞く鈴木隊長は總督の大先輩小磯總督の懇切な注意に感激し

鄕里山形縣より風光もよく春も早く來るが土地は有機物が少く赤いから灣山の堆肥を入れて黑い土にしなくてはならないから堆肥増りを一生懸命にやつてゐます、家を新築するにも岡の裾で移植を手に入れて鮮內地式の農家を作ります

と着實に新らた建設狀況を滿足氣に聽き入る總督と鈴木隊長との話はなかくつきず、四時半鐵原驛で別れをつげる隊長を見つめる總督は食糧増産の基調をなす諸施策の一つである鄕導農家が將來ますく生長することを期待する希望に滿ちた面持であつた

昨日歸任

江原道を巡視中の小磯總督は終日の廿五日を迎へた小磯總督は午前十時半宿舍長安寺莊を出で金剛山電鐵で昌道驛に到り、驛前の日本鑛業金剛鑛業所を訪問鑛業所務

奮起せよ全鑛山

寧日なき陣頭指揮

所で藤本所長から同鑛山の生産及び各施設の概況を聽取したのち選鑛場を視察し、午後二時から事務所に集合した百五十餘名の職員に對して現在の時局と鑛山の國家的重要性の重大使命について訓示を行ひ職務に挺身する旨の答辭を受けて同所を辭し驛頭に向つたがここでも總督は去り際に藤本所長に向つて多勞務に對する温かい思ひやりがなければ所期の増産が不可能である旨を說き『いつれまた多勞務者に對する施設を見せて頂きに參りますがどうぞ宜しく』と鄭重な口調で勞務管理に對する善處方を要望した

あすぞ晴の社頭對面

半島靖國の英靈永へに鎭しづまります京城護國神社、木の香新しき神殿の奧深く、初の朝鮮遺兒隊を迎へる御神靈今ぞ喜び甦れ給ふ社頭對面の日は廿七日に迫つた、苛烈なる戰局の推移にふるへ、遺兒安かれの加護を祈願と共に東京への道は京城護國神社參拜に變更されたが、遺兒代表の意氣高く、廿五日午後三時釜山で慶南北、全南北、忠北、平南、咸北各道代表十七名はそれぞれ引率者と共に入城、山本府廳その他の出迎へを受けて中區明治町愛國寮に入つた、母親心づくしの菓子や果物で背嚢をふくらまして健康な顏を輝かす男兒、セーラー服におかつぱ頭の可愛い女生徒などで愛國寮は明るい笑ひに包まれる、京城護國神社の參拜は初めてのことで遺兒の喜びは大きい、『早く お父さまにお會ひしたい』と互に語りつゝ第一夜の眠りについた、これは愛國寮で聽く遺兒の言葉

◇…慶北班は大邱旭國民學校五年の川野兆郎君（一一）同じく松村龍三君（一一）に慶山郡河陽國民學校五年川井田恭子さん（一一）の三名であるが

瞼に描く"優しいお父樣"

譽の遺兒入城　愛國寮に興奮の一夜

別れての對面の嬉しさに車中はとんと何物も口にしなかつたとは引率者旭校河永先生の話である、幼な胸に嬉しさを隱しきれず松村君は語る

兄は一昨年、姉は昨年みんな靖國神社に參り、お父さんに會つて來ました、今度は私の番だとどれほど待つてゐたかわかりません、廿七日にはお父さんにお會ひ出來ます、きつと仇は討取りますと誓ふつもりです

◇…咸北道下國社會課長とともに各道に先け一番乘りした羅南國民學校五年青木宏司君（一二）は戰爭勃發の欲求を早速はがきにしたゝめ故鄕の母へ報告するのであつた

羅南昨日の夜七時廿五分に元氣で京城に着きました、朝鮮で僕が一番乘りです、みなは今日の夜つくさうです、僕たちを迎へに來てくれた人達は僕たちを知らないからある軍人さんが紙に〇〇とかいて出口のところで手にもつて立つてゐました、街には電車がうよく目が廻りさうです、廿七日お父さんに會へるかと思つたらほんとに嬉しくて涙が出さうです、ではみなさんくれぐもおからだを大切にさやうなら　宏司より母上樣

◇…慶南代表安武紀美子さん（釜山第七國民學校五年）父安武平三郎中尉（福岡縣）は昭和十二年山西省で戰死しましたが優しい父親の顏を今でもはつきり憶えてゐます、由江姉さん（釜山高女三年）は昭和十五年に靖國神社に母と參拜してその感激を語つてくれましたが私は朝鮮に初めて祀られる京城護國神社に社頭對面を許される喜びを今度は話して上げませう

お父さまもどんなに喜んで戴けるかと今から胸がをどるやうです、うんと身體を鍛へて勉強するやうお祈りするつもりです

◇…全北代表山本輝雄君（全北山國民學校五年）父（山本稲上等兵）は昭和十二年十月山西省で戰死して金鵄勳章を戴きました、母は夏代さん（三五）はお父さんに負けぬやう立派な軍人になつてお國のために盡しなさいと常に激勵して呉れます、色々御苦勞して育てゝ呉れる母の爲にも將來立派な軍人となつてきつと父の名を辱しめぬやう勉强するつもりです

【寫眞＝愛國寮に到着する遺兒部隊】

何ごとも沈着に

田中總監、釜山道廳を視察

【釜山電話】歸任の途釜山に一泊した田中政務總監は廿五日午前九時四十分大野慶南知事の案內で道廳を訪れ、職員に對し約廿分間に亘り

戰局の苛烈化した今日政治行政がセカくした氣分に支配されることは大いに愼まねばならぬ、戰局に一喜一憂せず沈着事に當ればすべての間に潤ひがあつて圓滑な戰時行政の運營が行はれる、かうなれば國民の總力は自然に發揮し得られ、命令も迅速に徹底し遂行の確實性と戰力の增强が期待される

と熱烈たる更道の刷新を說き、ついで午前十時五分地方法院を巡視し、阿部地方法院長から決戰司法事務の遂行狀況を具さに聽取したのち同十時四十分釜山地方交通局に至り、局員に

職務の負荷する使命は內外とも注目の的で、識者でも批判されたが、私は固く待てといつたそれは朝鮮の名譽にかけてもこの汚名を雪ぐ確信があるからだ、輸送戰士諸君はこの秋こそ底力を發揮して命令徹底を圖り戰機即應の構へで責任感に徹せよ

と訓示し田邊局長は全局員に代り各方面の批判を受けて申譯ない輸送戰士一同はレールと共にと決死殉國の意氣込みを以て必ず戰力增强に挺身する

と悲壯な答辭をなした、田邊局長の案內で鐵道建設事務所で鐵道敷設狀況と驛構內を視察し、正午宿舍鐵道ホテルに引揚げ休憩の後、午後一時廿分再び車を驅つて〇〇工場を訪問、計畫造船に日夜挺身する生產戰士の作業ぶりを視察、更に同工場から埠頭局の監視船に便乘海上から港灣修築狀況、〇〇の輸送貨物の動きと勞務關係について現場の視察を遂げ、午後四時卅分釜山の全日程は終つた

なほ總監は同夜九時釜山發急行で出發廿六日朝歸城する

雛鷲晴れの入隊式

【〇〇電話】あすの決戰場目ざして研鑽〇〇ケ月鍛の陸鷲たちよる陸軍飛行學校少年兵〇〇〇名はさらに威技を錬磨すべく本田少尉に引率されて廿四日午後六時十五分蠶頭に三つ星の姿も頼々しく〇〇驛着、出迎への日婦分會長拔口トキエさん以下會員のお茶の接待を受けたのち〇〇教育隊教官大石少尉引率のもとに神社に參拜〇〇へ向つた、尚近く嚴肅な入隊式を擧行の上、血の猛訓練を開始する

翼運動へ總蹶起

【下關電話】山口縣船木國民學校で擴大に組織されたが、これによつて蹶起した陸軍戰闘機『山口縣協和第一號』命名式は船木國民學校で盛大に擧行されたが、これに內在住の半島同胞總蹶起の赤誠に島同胞も"船木に續け"と各都市單獨獻納の熱心な運動を展開中である

食膳へ月に四萬貫

牛肉

本年度の屠殺數は十二萬頭

朝鮮畜産本年度屠殺牛總數はこのほど十二萬頭と決定、四、五、六の三ケ月間に三萬頭の牛肉を各家庭の食膳に供する豫定であるその中京城一ケ月間の屠殺牛は一千三百頭、四萬貫で食肉を百廿萬府民に一人當り卅匁づゝ配給、以て栄養供給の確保に努めることになつた

『決戰美術展』けふ限り

午後五時まで　總督府美術館

京城藥專合格者

かくて總督は午後四時五十八分原驛を出發、去る十六日から慶北江原、慶北三道に跨る千二百キロの旅路を越え、苦難を厭はず一日十數時間に亘る鑛山增産陣頭指揮ぶりは實に三道鑛山だけのみに止まらず、全鮮鑛山が今こそ蹶起すべきであることを深く悟り小磯總督の熱意に應ふべきである

[京城藥專合格者名簿]

東田英發、守分和發、金丸東齊、玉川榮一、佐伯良、原恒明、西田弘、恒松正夫、吉村俊尊、金剛惠機、大山高司、金光孝夫、郡剛照星、高永錫康、島川錫永、原暉、豊山善浩、夏山幸昌、岩本邦雄、趙村一雄、吉田敏孝、梁川潤、原田龍生、宮本炳浩、與井和雄、大和田八洲善、松下相沫、重光彦、門前彥三、岩村瑞浩、江南文治、上原清博、朝平政雄、三宅浩恩、慶林東信、東明忠幹、片山慶二、木村勳、川本延夾、新木敬弘、水野機、安陵公博、豊城宏昌、白村致培、高田啟起、岡山正直、金城東建、荒井文輝、岩本正明、山市信明、金川昌平、金本梓浩、福岡省三、神山明俊、賀村正喜、中原陽夫、竹村孝夫、德村俊夫、木村成雄、砂川安雄、國田又三郎、吉村浩敏、張原錫俊、福原茂、上本松谷昭浩、柳川敬、松枝茂雄、平山一正、岡興善、天野勝文、李家守保、金光茂、岩村庄秀、堀江清一、下崎俊永、村上誠、定永元明、松本鼓男、柴田久高、吉田昌弘、平谷田勝彥、大石大岡、千葉繁夫、白屋淳雄、白石憲、野口博一郎、中山茂次、大原愼一、松尾松次郎、木下和邦、水田龍觀、定永高志、田動、寺田良章、平野元國、金山鎔漢、村地邦太郎、山口俊郎、八島福規、宮崎浩、山崎昭、前原國夫、生、夢知謙剛、內山忠夫、佐伯恭一、長澤五郎、伊藤好吉、後藤幸男、高田智、久野榮三、岩永千引、本田重明、一瀨英樹、仲路正雄、宮本潤二、中野俊、圓田久雄、佐藤富美男、吉田啟、中場啟、熊本卿雄、井谷龍淳、福留金一郎、佐藤仁、埴岡博、土井美鉉、下高昆豐川正忠、桐山保、石田猶明、南塘夫、西谷正敏、高橋長谷雄、田村和夫、神鍛雄、山本敏夫、橋本昭二、上下卓三

ラジオ　26日

第一放送　朝　▲七・〇〇

▲九・〇〇少國民の時間、歌と體操、音樂、民族通路と大東亞戰 ▲一〇・〇〇週間錄音、國際放送ベルリンより ▲一一・四五時局講演 ▲〇・二〇移動音樂『一撮と管絃樂 2 手風琴 3 獨唱と齊唱 ▲一・〇〇講談、落語、浪曲、軍國歌謠

夜 ▲六・〇〇少國民の時間『國語民族生活物語』▲六・三〇輕音樂『南方歌曲集』朗讀、放送劇（光州）▲七・〇〇世界の戰局、放送劇『壯士行』▲九・〇〇最近の航空戰法（協）戰時鑛報

第二放送　夜 ▲六・五〇輕

▲七・二〇 警報一夜明け2月の光 ▲七・二〇(邦)現下の國際を語る、軍神傳『山崎部隊長』▲八・〇〇洞簫獨奏 ▲一二〇樂譜解說 ▲九・〇〇(東)朝鮮弘報、放送劇『二人のお爺さん』

頭痛かぜねつに

ネオサルル

頭痛、かぜねつ、齒痛の症狀を消し副作用なし

定價〇・五〇　一・〇〇

東京市神田區三崎町　賣出元 製藥株式會社

全國藥店にあり

"診查のいらぬ"

一興亞保險一

發賣

愛國生命

幸運報國の魁

神山巖祥先生出張

二十餘年の研究と幾千の經驗を積んだ本運命鑑定は決定的適中を顯はし一生の運命を直指す

運命

四月十日迄

絕對日延なし

三月末日迄　日曜、祭日無休

御成集會所二階

午前八時より午後七時迄

姓名の暗示に因り

入院隨意　案內書贈呈

京城腦病院

京城府鍾路區　電話光化門〇〇番

井上內科

電本1951

四月號・必讀記事

女性救國

▲民防空擔任將校座談會

▲ラバウル血戰　塚本大尉

隣組回讀の實行を

★★★

給仕募集廣告

一、應募資格　國民學校卒業者にして年齡十六歲（數へ年）以下の者

二、選衡　四月中旬とし囑託には夫々日時を通達す

三、初任給　日給四十五錢、年四回昇給し被服を貸與す

四、優遇

五、採用者は總て總督府の職員として……

昭和十九年三月二十日

朝鮮總督府

生徒募集

甲種　朝鮮農業學校

第一學年三十名、第二學年若干名　四月開校の見込

高速度精力增進 綜合榮養強壯劑

科學的人參製劑

仙錠

一ケ月分　圓六十錢

大阪道修町　蔘仙莊

謝類燒御見舞

大邱府中央通り

同仁堂藥房

店主　川本富代志

女子職員募集

一、勤務地　輕金屬統制會朝鮮支部

一、職種　輕金屬統制に關する一般事務

一、資格　三十五歲迄の內地女子（女學校卒業者又は之と同等以上の學力を有する者）

一、人員　若干名

一、待遇　銓衡の上本人の經歷年齡等に依り出來る丈優遇す

一、採用區域　通勤可能區域

一、申込方法　希望者ハ自筆履歷書ヲ添ヘ當日迄ニ總務部ヘ提出ノコト

一、銓衡日　四月五日（水）午前九時ヨリ當支部ニテ實施ス

一、其他　詳細ハ當支部總務課ニ照會ノコト

京城府中區太平通二丁目〇番地三菱ビル一階（內線）

輕金屬統制會朝鮮支部

父一郎儀心臟麻痺ニテ三月二十四日午後十一時急逝仕候間茲ニ生前中ノ御厚誼ヲ拜謝致シ此ノ段御通知ニ代ヘ謹告仕候

追而告別式ハ三月二十六日午後二時三十分自宅ニ於テ佛式ニ依リ相營ミ可申候

尙御供物等ハ堅ク御辭退申上候

昭和十九年三月二十四日

京城府龍山區漢江通一丁目

妻

嗣子 前川

親族

友人

同　同　一

百萬五千圓を狙上
増産技術向上費七萬圓の累加
京畿道農會の總會

十九年度の豫算を審議する京畿道農會通常總會は廿五日午前九時から第一會議室で深戸會長統裁の下に開會したが、新年度の總豫算は百萬五千四百七十一圓で前年度の九十三萬三千四百七圓に比すれば七萬二千六十四圓の増加となつてゐる、之は主に決戰食糧の飛躍的増産のために要する技術向上費が累加したものである、同午後二時から十八年度における各種農産品評會の入賞者表彰があつた（以下入賞者）

◇苗代▲第一區、一等平澤、二等安城▲第二區一等利川、二等驪州▲第三區一等楊平、二等抱川▲第四區一等金浦、二等江華▲第五區一等坡州、二等楊州

◇堆肥＝第一區、一等始興、二等安城▲第二區、一等利川、二等龍仁▲第三區、一等抱川、二等楊平▲第四區、一等富川、二等金浦▲第五區、一等長湍、二等開豊

◇綠肥＝第一區、一等安城、二等平澤▲第二區、一等龍仁、二等利川▲第三區、一等抱川、二等楊平▲第四區、一等江華、二等富川▲第五區、一等楊州、二等坡州

◇稻田競作＝第一區、一等安城、二等水原▲第二區、一等驪州、二等龍仁▲第三區、一等楊平、二等抱川▲第四區、一等金浦、二等始興▲第五區、一等長湍、二等高陽

◇家畜飼養管理＝郡農會の部＝一等龍仁、二等利川、驪州▲部落の部＝一等龍仁郡[illegible]、楊平郡龍門面多文里、水原郡日旺面旺谷里杏村部落

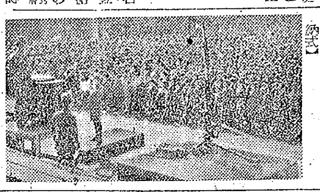
鍾路區役所移轉

鍾路區役所は移轉します——鍾路區[illegible]町の鍾路區役所は廳舍が狹くて事務處理上不便が多いので壽松町八八、天道敎總部の一部を借受けを交渉中であつたが、このたび大神師百年記念館と座房百十八坪の使用承認を得た

この記念館は建坪百四十八坪もある總瓦葺りの大殿堂で目下東亞工科學院で使用してゐるが、同學院の校舍は近く同區役所で移轉することになつた、延百十八坪には區役所を移轉することとになり既に一週間前から着工、秋には竣功の豫定、移轉は十一月になる

學童が高射砲
一錢、二錢で獻納

[illegible]公立國民學校兒童一千二百名が昨年末から各教室に赤心の獻金箱を設け一錢、二錢の小遣ひを貯めたのが積つて三千圓になつたので、高射機關銃一基を軍部に獻納することになり、廿五日午前十時から同校々庭で愛國部平井大尉を迎へ莊かに獻納式を擧行した、全兒童は自分達が差出した僅かなお金がかくも立派な兵器となつた嬉しさに胸を高鳴らせて整列、兒童代表六年生平原壽泳君が〝兵隊さん、この機關銃で敵の飛行機を撃ちおとして下さい〟と小さな胸一ぱいに愛國の熱誠を溢らせるのだつた【寫眞＝同校の獻納式】



工場が食糧自給
農民も雇つて實施

瀧口永登浦署長は管内諸工場の食糧自給の積極的利用指導に乘出すべく具體案を練つてゐるが、面積が廣大な諸工場の從業員だけでは利用し切れぬ工場も相當多數に上るので、これらの工場に農民を雇入れて耕作せしめ合宿所に要する蔬菜等は出來る限り自給自足せしめることになつた

このため經濟係も從來警部補主任一人であつたのを警部、次席になつた

に際會を配し陣容も増員して陣容を整備、家屋周圍利用の指導を徹底化し寸土をもむだにすることのないやうに力を入れることになつた

鍾路署の救護訓練

鍾路署では同署警察官を中心に防諜救護部員など五百名を集め權威萬氏ほか八醫師を講師に迎へて救護法講習會を廿五日から四日間毎日午後二時から同五時まで講示室で開催、止血法、繃帶術、三角巾使用法、人工呼吸、副木裝着法、患者輸送法などと救護法に萬全を注ぐ

凛々しモンペ姿
女子特錬所指導者卒業式

時局認識の乏しい農村女性を増産戰士として軍國の母、妻として啓發する指導者を錬りあげるため一月前に幕をあげた京畿道女子青年錬成所指導員養成所では管内の各郡から選ばれた高女卒業者四十九名に指導者に必要な訓練を敎へて來たがその卒業式を廿五日午後二時から京畿高女講堂で擧行した

卒業生はモンペ姿も頼々しく、國民儀禮ののち、楽川所長が烈々火を吐く訓辭をあたへ證書を授與、次いで渡部道內務部長が知事告辭を代讀、卒業生總代吉田正子さんが『粉骨碎身天業を翼賛し奉ります』と誓辭を感激にふるへて讀みあげれば全卒業生の眼にも光るものがあつた、皇國臣民の誓詞、海行かばを齊唱、同三時半閉式した

傳へん農魂
報道挺身隊の現地報告大會

總力聯盟がさきに米英擊滅國民總蹶起運動各道戰時報國大會に派遣した報道特別挺身隊員の地方狀況報告は何れも地方農民が困苦缺乏に耐へ默々として鍬先に火花を散らしつつある實に涙ぐましい實情ばかりで

明月館の挺身隊活躍

明月館の從業員四十五名は享樂面に『さやうなら』して增產戰線に挺進せんと明信鐵鋼報國隊を結成し錬成に闘魂を練つたが、引續き廿二日から鍾路和信前より宗廟間の待避所の修理に汗を流し廿五日豫定の勤勞作業を終へたのでシャベルを肩に同日正午鍾路署を訪れ勤勞作業の報告を行ひ伊坂署長から『消費的な生活部面から生產的な生活部面に百八十度の廻れ右をした諸君に對する邦家の期待するところは大きい、有終の美を納めるやうに』との激勵をうけ增產第一線に飛込んだ

難しい『平等』
砂糖配給に經濟課長の回答

砂糖の登錄制が實施されてから戸別稅等級に依る額の差、常用家庭と非常用家庭との區別などで一部の府民は不平を洩してゐるやうだが戸別稅六等以下の者で登錄に洩れた人はどうすればよいか——泉川京畿道經濟課長に訊く

要は入荷總額が少いからでこれは戰時下における當然の現象であるから闘ふ國民であればそれ位理解しなければならぬ、平等といふことはなかなか難しい、[illegible]

華僑の學童
慶祝學藝會

遠く故國を離れた京城で、友邦日[illegible]わが陸海軍に感謝の意を捧げて國防獻金することとなつてゐる

農村改良住宅の入選者授賞式

皇國農道を確立するには先づ農村住宅の改良をはかり生活によつて魂を發揚しようと、[illegible]改良住宅の設計を懸賞募集したが入選者に對する授賞式を廿五日午前九時から[illegible]で擧行した

大野總務局長、永井[illegible]課長、[illegible]川崎安次（中南、西北鮮地方向二席）金谷嘉次（中南鮮地方向二等）矢野要（西北鮮地方向三等）

稅務署增設
鍾路と西大門に

增稅に伴ひ稅務署の仕事も日毎に膨脹し繁雜を極めるに至り、昨年京城稅務署の管轄を二分して龍山稅務署を新設したが、それでもまだ不足を感ずるやうになつたので京畿道稅務部では新年度から新たに鍾路と西大門の二ケ所を新設すべく同直稅課で準備を進めてゐる

樓上町で總蹶起大會

鍾路區樓上町々會では〝我等の國土は我等の手で〟と自發的に防空總蹶起大會を廿六日午前十時から樓上町々會で開き、防空[illegible]

風呂屋が値上げ陳情
長髮の男は別に料金を要求

京畿道調査課の調査によれば京城府內における錢湯は現在八十六軒であるが、これは人口世萬前後當時の數で百廿萬を突破する今日では問題にならぬ程の不足を來し同じ風呂屋にでもそれこそ芋を洗ふやうな現狀である、しかるに業者側では燃料難を口實に値上げの陳情をしてゐる

業者の要求は現行男子一回十一錢を十五錢に引上げ、長髮者の洗髮料を別に十四錢にして貰ひたいとのこと、これは男の客が洗髮に要するお湯の量が婦女子より遙かに多いからであるといふ長髮者に入浴の斷りをしてゐる錢湯すらある際である當局が業者側の陳情をどう裁くか

不退轉の決意を熾烈と燃え沸らせ防空資材の整備などについて種々申合せすることになつた〝[illegible]〟たは鍾路區各町會でも順次に來月八日まで自發訓練を行ふ

作）諸氏等（中南鮮地方向佳作）中村弘之（中南鮮地方向佳作）受賞者代表川崎氏に賞狀賞金及び獎勵を授與した【寫眞＝上から川崎、矢野、金谷、中村受賞者諸氏】

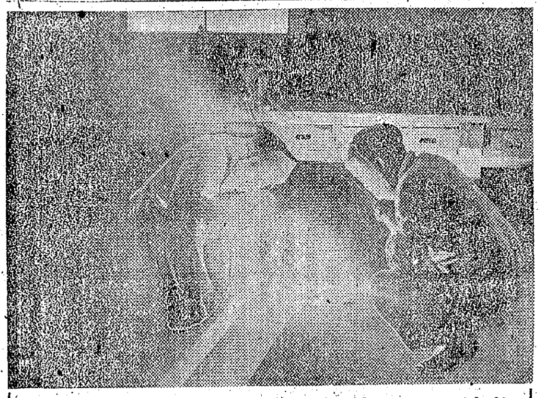
京畿道の公醫講習

銃後國民の保健向上を圖るには先づ公醫の資質改善が根本問題だと京畿道衛生課では道內の公醫六十餘名を集め廿五、六の二日間『公醫練成講習打合會』を開催

第一日は道第一會議室で午前十時から開會、國民儀禮、坂本衛生課長の訓示、武藤衛生課長技師の挨拶があつて講習に入り衛生課內保健部の約二時間に亙り防疫について『處理と實際』を說き次いで指示注意があつて五時過ぎ散會した、第二日の廿六日は午前十時から再會、北村城大教授からスルフアミド劑の實際と臨床についての講演、京畿道衛生技手須川豊氏の『結核の早期發見と豫防』に對する講義、竟見希望の開陳などがある筈

嬉しい轉進
公營質舖も廢業

庶民の金融機關として仁川府內金谷町にかて設置されてゐた府營の公益質屋は中流階級以下低庶民の收入增加から近時利用者が激減し殆ど休業狀態に立至つたのでその必要性を認めず四月一日から廢止することになり目下整理中である



前線への心の熔接

小職にも擴を唯一の時みとしてわれ及に闘ふ米敵に最後の止めを刺さずんばやまぬの闘魂に燃え沸る銃後生產戰士は[illegible]する、炸裂する爆彈のやうに強烈な光を鐵マスクで遮りながら一分一秒たりともくるつてはならぬと細心の注意に注意をはらつて進める熔接作業、敢闘する戰士の胸には熔接の光花の如く激闘の魂は沸り熔鐵はこの腕で必ず擊つぞと敢闘してゐる（寫眞は府內某工場熔接部戰士）

戰ふ家庭

火災の時期
陽氣にうかれるな

最近における京城府內の火災發生狀況は極めて減少し大火災とも稱すべきもの殆ど其の跡を潜めたるは全く銃後に相應しき好現象である、之は偏に府民各自が其持場々々に於て現下の緊迫せる時局を深く認識し、專ら戰力增强のため物資の愛護と生產に渾身の努力を拂はれつゝある證左とも見るべきであり、極めて喜ばしく意識すべきであるが、火災は常に心の緩みから生ずるものであるから一時の油斷も禁物である、殊に從來の統計を見るに初春に於て火災度數も損害も俄に增發するを例としてゐる、これを吾吾消防では稱して火災季節としてゐる、之等火災の原因は種々あるも、要するに陽春ともなれば自然のうら暖かさに伴れ永き冬籠りの苦痛より俄に解放されて浮いた氣持となり物事に對する細心の注意力が缺け從つて火氣の取扱ひも不仕勝となるところに大きな間隙が生ずるからである、又家庭を空けての外出が殖え留守中に油斷ばかりでなく火の用心をもおこたるからである、又氣候的にも濕物乾燥し濕度著しく低下燃燒力は昂まるのみならず春風の風速も亦强くなり、火災の爲めには益々好條件が備はつて來るからである、假りに發火の火元を調べて見るのに主として以上の條件の下に火の不始末、かまど焚口、灰殼、煙草吸殼、七輪、子供の火遊び、焚火、燐寸、練炭、電氣アイロン、汽車煤烟等が首位を占めて居るのでも知られる通りである、然し是等は一に懸つて注意力の不足の一點にあると勿論であり、故に苟も國民として氣の緩みから失火し、國家的な疾敵に挺するが如き失態を絶せざるやう常住坐臥戰線の緊張を持續し大東亞戰爭完遂に邁進すべきである（京城消防署長大庭政[illegible]）

決戰川柳

いり子

味噌汁の中にいり子がはいつてゐると、[illegible]に一々ひろひ出してすてる男がある。ある時都合があつて夜遲くその男を訪ねると、酒が少しあるから飮まうぢやないかといふことになつた、ところが折りあしく肴にするものが何もないので、奧さんはいり子をやいてくれた、彼はおいしさうにそれを食べながら盃を重ねるのであつた

フロシキ一枚も
考へ樣でいろいろに利用【下】

今日は安全ピンで止めた紐付の三角巾として着かへて見よう、一圖の外に擴に、擴に、足、下腹部等色々な用ひ方があるが今日は研究をしていただきたい

この際セ一本安全ピンがあつたらもつとく便利だ

第二番目はエプロンである、紐は兩の紐の付いてない兩端をピンで止める、次は一寸縫つた上着下のブラウスとしても仲々面白いのであるその一つは通した紐を布を縮めぬ樣にして頭に巻き後で結ぶ（三圖）前だけであるから胸の樣な上着をきる

最後の（四圖）は紐を引張つて風呂敷に紐をよせる

着方は三角布と同樣安全ピンで止めたものを使ふ

先づ紐のうつたところを前に當て後で結び紐は少し長いので上に折り返して適當な形に纏め、後の始末は安全ピンでとめればよい（福增衣服研究所）

大根おろしの三德

大根は昔から胃腸藥であつたりするよりは生のまゝ大根おろしで頂くと消化をつけませう、生のまゝですと第一に果物不足の季節になくてはならぬビタミンCがたつぷり含まれてゐて赤ちやんにもそのまゝ與へられるほど消化吸收がよろしい、第二に燃料の節約です、なにを好んでわざわざ煮え難いものを燃料を使つて煮る必要がありません、第三に時間も省けます、好みによつてふりかけは勿論、もみ海苔、蜜柑の皮の繊切り、青菜、大根葉のみじん切りなどまぜて、醬油、酢で味付けし、變化をつければ毎日でも決して飽きません

海の新兵器

◇磁氣機雷（落下傘機雷）磁石と鐵を吸引とする船が近寄つてくれば、この磁石が動いて或る作動をなし、火藥を爆發するのである

◇音響機雷 普通の機雷と殆ど同じで、飛行機から落下するのだけが違ふ、尤も五、六十米の處から落ちるのであるから、機雷に一種の緩衝をつける

◇[illegible] 水中に[illegible]、機雷が水面に浮かれて、その所在が敵に發見され、よけられるおそれがあるので、出來たのがこの新兵器である

家庭問答

問 甘藷の苗を苗床で育てるのですが、どうすればよいのでせうか（大和町 [illegible]）

答 甘藷の苗だけでなくその他の種子や園藝など農作物の栽培については[illegible]係へ御相談をうけてなりますから同係に詳しく御問合せになればよいと思ひます（敬）

本社寄託獻金

國防獻金 ——廿四日扱——

【陸軍】▲四十圓 京城府大和町第四區第六愛國班▲廿三圓十錢 [illegible]

恤兵金

【陸軍】▲十一圓九十一錢 京城竹添公立國民學校五年一組一同

飛行機獻納基金

▲卅三圓十一錢 [illegible]國民學校昭和十八年度修了生一同

——廿五日扱——

國防獻金

【陸軍】▲二千圓 中區本町二ノ七八 隈本ノリ▲五十圓 中區旭町二ノ三 中島正藏▲[illegible]

飛行機獻納基金

【海軍】▲一千圓 中區本町二ノ七八 隈本ノリ▲五十圓 中區旭町二ノ三 中島正藏▲[illegible]

賭博犯

鍾路署江川巡査部長は十四日都水町一八、中國人李福海の家で七名が賭博中を檢擧せんとしたところ李が署外にも現金三百圓をポケットに入れ獸殺を振りのけ全部を引致、李福海は賭博罪として廿四日送局した

藝能

戰ふ移動映畫班
全鮮向け十五班四月番組

地方唯一の慰安と啓蒙の役割になつてゐる朝鮮映畫配給社の移動映寫班は先般表彰された前線勇士向け映畫の普及強化に從つてその活動に一層拍車をかけるに至つたが、全鮮十五班の四月番組は次の通り

▲京畿 成吉思汗を憶ふ少年兵への生涯▲全北 猛獸使ひの姉妹、勝利の渡り鳥▲全南 [illegible]

北 伊賀の水月、猛獸使ひ▲[illegible]

☆三木寅氏（朝鮮演劇文化協會）移動劇團巡演狀況視察のため二十五日京城着、春川地方へ

現代劇場

成世德氏の新作『靑春』（三幕四場）四月公演を取上げ三十日から五日間、府民館で上演する、演出安英一

郷子 (186)

海野十三（作） 村上松次郎（繪）

加太郎奇譚（十二）

わけは分らないが、このアメ研究では、膨力源探求といふことが行はれてゐるといふ。

加太郎は、奇蹟の帆村北鳴からこのおそるべき事實について知らせられた。そしてこのことを早くわが艦隊へ報告するやうにと注意をうけた。

『帆村さん、報告せよといつてもどうするのですか』と加太郎は訊いた。

『脱走するの一手だよ』帆村はきつぱりといつた。

『脱走ですつて、とても駄目ですよ。脱走は……。私は嚴重な監視の下に在るのですからね。それにジョンがいつもおれから放れないのですよ』

『なあに、狙つてゐれば機會はあるさ。たとへば、今日のやうにジョンが君から放れてゐることもあるぜ』

『なるほど、それもさうですね』と、加太郎はうなづいた。

『とにかく、おれがうまく君を逃がしてやるから安心して機會を待つてゐるやうに』

『へえ、それをやつてくれますか』

加太郎はうれしくなつた。帆村の横顔を見ると、自信がありさうであつた。

『帆村さん、あなたはここで何をしてゐるのですか』

加太郎は、一轉して帆村の身の上を案じて訊いた。

『おれかね。おれは要するに調査をしてゐるのだ。が、その調査も大體終つた。これからおれは宇宙艇に乘込むつもりだ』

と、帆村は思ひがけないことをいつた。

『えつ、宇宙艇に乘込む。宇宙艇といふのは今建造してゐるあれですか』

『うん』

『さうだとも。おれはあの宇宙艇で、脱出しようと思ふ。これからは、宇宙艇の內部を探つてやるのだ。どんな風な設計でやつてゐるのか。どんな風に推進するのか。アメリカの奴らは、何をやらうと思つてゐるのか。そんなことを出來るだけ調べてみるつもりだ。君は艦隊へ歸つたら、井岡さんや香椎君によくそのことを話しておいてくれたまへ』

帆村は、かたく決心をしてゐるらしく、艦長として宇宙艇脱出のことを加太郎に語つてきかせた。

『それは素晴しいことにちがひありませんが、危險きはまることぢやないですか』

加太郎は、さう忠告しないではゐられなかつた。

『なんの、おれはうまくやるよ。帆村北鳴はへまはやらない』

『大丈夫ですか』

帆村は、輕く笑つた。

『アメリカ人のやることが、おれにも出來なくてどうする。また出來なくて、おれみたいなものがどうして勤まるだらうか。君が想像してゐる以上に、おれは自信を持つてゐる』

帆村は落ち着いて、かなしいことをいつた。

加太郎は今さら驚きの眼を見張つた。よく帆村はこれまでわが艦隊へ戻つてきたのである。どうしてアメ研究を探し得たか、それはこの物語に大した關係がないので、說明を省いておく。

京日案內

案內料金（前金）　一件一回稅込 [illegible]

社員採用 福島商工社　松下電器產業株式會社　女子事務員急募　事務員急募　看護婦　求賄付高級貸間　讓カメラ　女中　社員　交換手　苦學生　高級下宿　發動機　女子事務員　寮母　看護婦　無賃家　工場　賣テーブル　家庭　洋服　筆生　交換手　店員　賣工場　貸家　賣家　齒科　賣又は貸　醫師　金庫　革靴

女子工員募集　樂天堂製藥　女子事務員採用　京畿自動車　社員募集　大陸朝日社　求貸事務所　田中工業　交換手採用　女子事務員　朝鮮船舶　三井物產　女店員採用　京城明治賣店　賄係採用　朝鮮三共　小母さん入用　瀧兵株式會社　賄婦採用　伊藤萬株式會社　看護婦　科 小兒科 內科　花柳病專門 白川醫院　會計檢查、會社設立、會社解散並ニ淸算事務及決算事務新稅務 計理士 香川弘　科 齒科 新井明鎭　引越荷造 丸二組　李洄桂齒科　ピアノオルガン　會社設立經理決算事務 豐田計理事務所

映畫・演劇

館名	番組
新富座	二十六日より四日間　東寶映畫特作品　決戰の大空へ　原節子、黑川彌太郎、高田稔、英百合子　女子青年隊の報告　日本ニュース
城南劇場	二十二日より廿六日まで　愛馬譜　風練兵館　劍　日本ニュース
東洋劇場	朝鮮樂劇團
浪花館	廿一日より　愛馬譜　風練兵館　劍　日本ニュース
大陸劇場	廿三日より　お馬は七十七萬石　勝ち拔く爲に　日本ニュース　朝鮮時報
第一劇場	三月廿四日より廿八日まで　第一樂劇隊公演
京日ニュース劇場	二十三日—二十九日　空の敎室　日本ニュース一九八
中央劇場	廿六日より四日間　潛水艦西へ　勝ち拔く爲めに　日本ニュース
城寶	二十三日より　お馬は七十七萬石
京劇	勝ち拔く爲に　日本ニュース　朝鮮時報
喜樂館	松竹映畫　あなたの力　おばあさん　日本ニュース　文化映畫
若草劇場	李香蘭と若草歌劇團
明治座	廿六日より廿九日まで　潛水艦西へ　文化映畫　朝鮮時報　日本ニュース
朝日座	休演
桃花劇場	二十六日より四日間　松竹映畫　愛機南へ飛ぶ　佐分利信、小杉勇、笠智衆　文化映畫　朝鮮時報
和信映畫館	二十三日—二十九日　日本ニュース　朝鮮時報　鐵道信號　砂利物語　幸福の母

糸 麻 用 造 荷　各種ロープ　帝國製麻株式會社　愛國商行　京城府中區黃金町2　電話②3904番

義手足・コルセット　秀優術技　品製ルセ良改步進　呈進グロタカ第次越申御　京城長谷川町　高野義肢製作所

犬の病院　山田家畜病院

强力下痢・腹痛・消化劑　セタン液

三菱モートル　戰力增强 生產擴充　辰巳礦油電機株式會社

性病科專門　泌尿器科

從業員募集　一、求人者 日鮮ゴム工業株式會社南山工場　一、就職地　一、應募資格　一、從事スベキ業務及人員　一、待遇　一、銓衡日　一、提出書類　一、赴任旅費　新義州職業紹介所

株式名義書換停止公告　朝鮮無盡株式會社

小兒健胃整腸劑　ベービー散　無限製品

野菜と花の種子と球根　朝鮮タキイ種苗株式會社

肛門病科　大和醫院　院長林裕盛

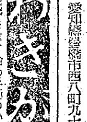
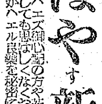
中毒治療研究所

わきが　自宅新療法進呈　森下みや子

毛をはやす新療法　日本醫藥研究所

南方共榮圈へ大陸へ　大日本海外青年會

株式名義書換停止公告　日本マグネサイト化學工業株式會社

29日まで　若草劇場

今日の日劇　晝間一時開演　夜間七時半開演　徵兵制實施記念週間　滿映 李香蘭と若草歌劇團　朝鮮軍報道部推薦　朝鮮軍報道部後援